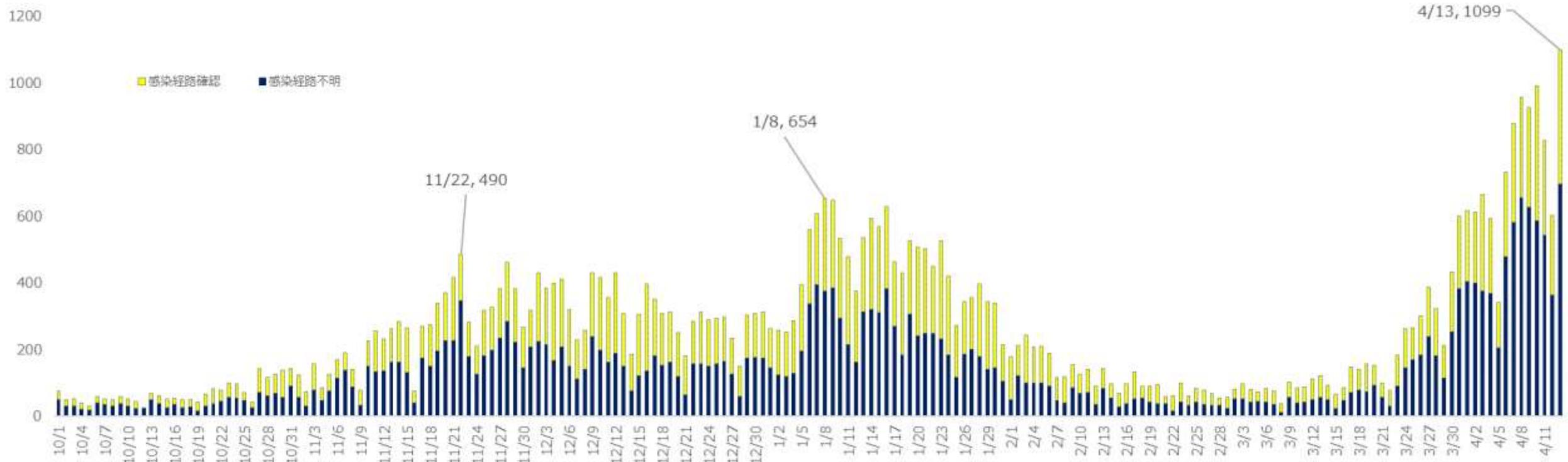


陽性者数の推移

資料 3 - 5



10月10日
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など

10月14日
Go To Eat Osaka 食事券引換開始

11月1日
入国制限緩和

11月12日～11月28日
「静かに飲食」「マスクの徹底」の要請等

11月21日～イエローステージ移行
5人以上、2時間以上の宴会・飲み会自粛
高齢者・基礎疾患のある方等の不急の
外出自粛要請等（12月5日）

11月24日～
大阪府を目的地とする旅行のGo To Travel
の適用一時停止

11月27日～12月15日
大阪府・中央区への時短要請等

21時

11月27日～
大阪府に居住する方のGo To Travelの利用
自粛要請

ポイントや食事券の利用自粛要請、食事券の
新規発行の一時停止

12月3日～
赤信号点灯（医療非常事態宣言）

12月27日～
大阪府に居住する方のGo To Travelの利用
自粛要請

12月4日～レッドステージ1移行
府民へのできる限り不急不急の外出自粛要請
（12月15日）

21時

12月16日～1月13日
府民への不急不急の外出自粛要請
大阪府全域への時短要請等

12月26日
全ての国・地域からの外国人入国拒否

1月9日
緊急事態宣言発出要請

1月14日～2月28日
緊急事態措置
レッドステージ（非常事態）2移行
府民への不急不急の外出自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の
緊急事態宣言発出要請

20時
請

2月23日
緊急事態宣言解除要請

3月1日～緊急事態宣言解除
イエローステージ移行
黄信号点灯（医療非常事態宣言解除）
4人以下でのマスク会食の徹底
歓迎会・謝恩会・宴会等花見の自粛要請
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請
府民への不急不急の外出自粛要請（21日）
首都圏への往来自粛要請（22日）等

21時

21時

3月31日
まん延防止等重点措置要請

4月1日～
大阪府全域の飲食店及び遊興施設の時短要請

4月9日
週末の外出移動自粛要請

4月8日
府域における不急不急の外出移動
自粛要請

4月7日
赤信号点灯（医療非常事態宣言）

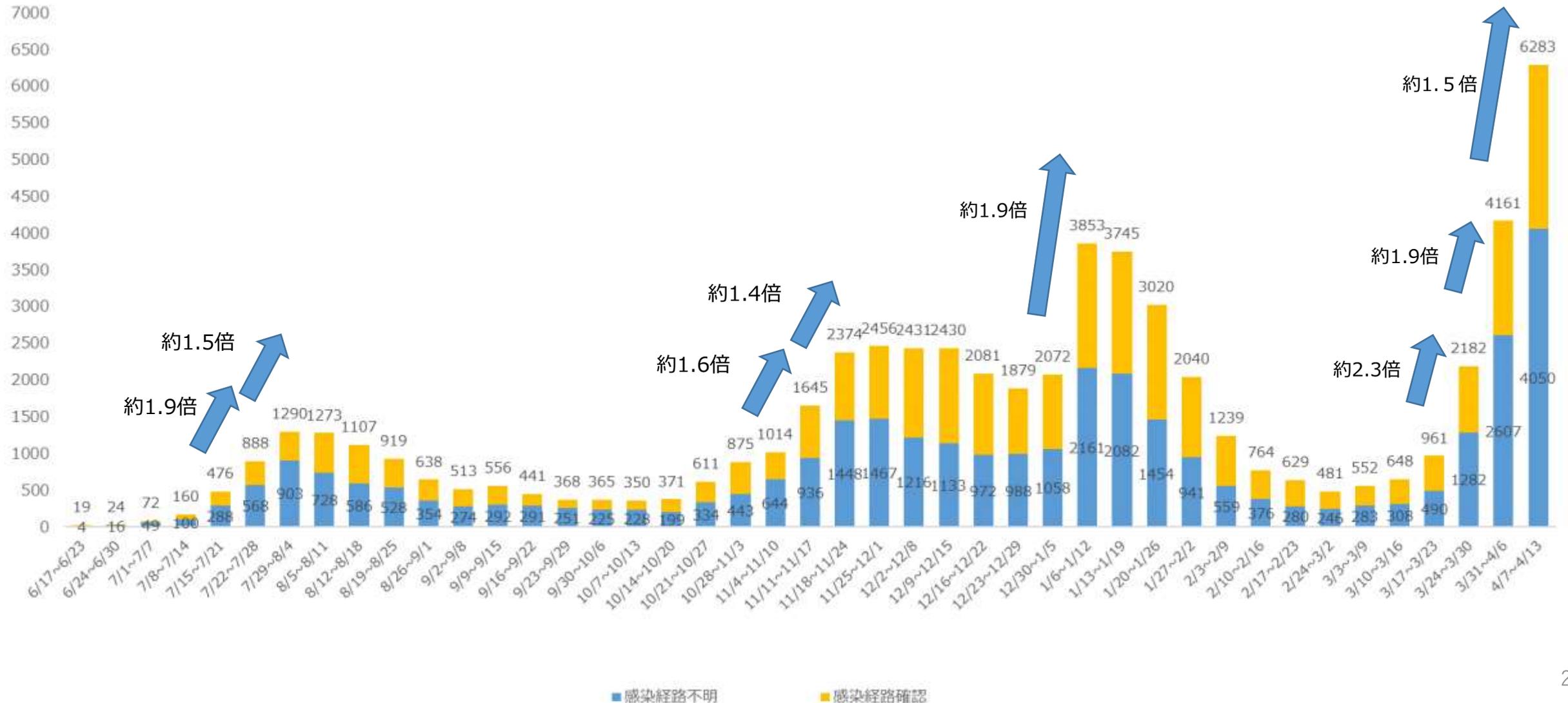
4月5日～まん延防止等重点措置適用
重点措置を講じるべき区域（大阪府）
時短要請20時

市内20時・市外21時

7日間毎の新規陽性者数

第四波は、3週間以上にわたり、第三波を大きく上回る速度・規模で急拡大。
 (直近1週間の新規陽性者数一日平均約898名)

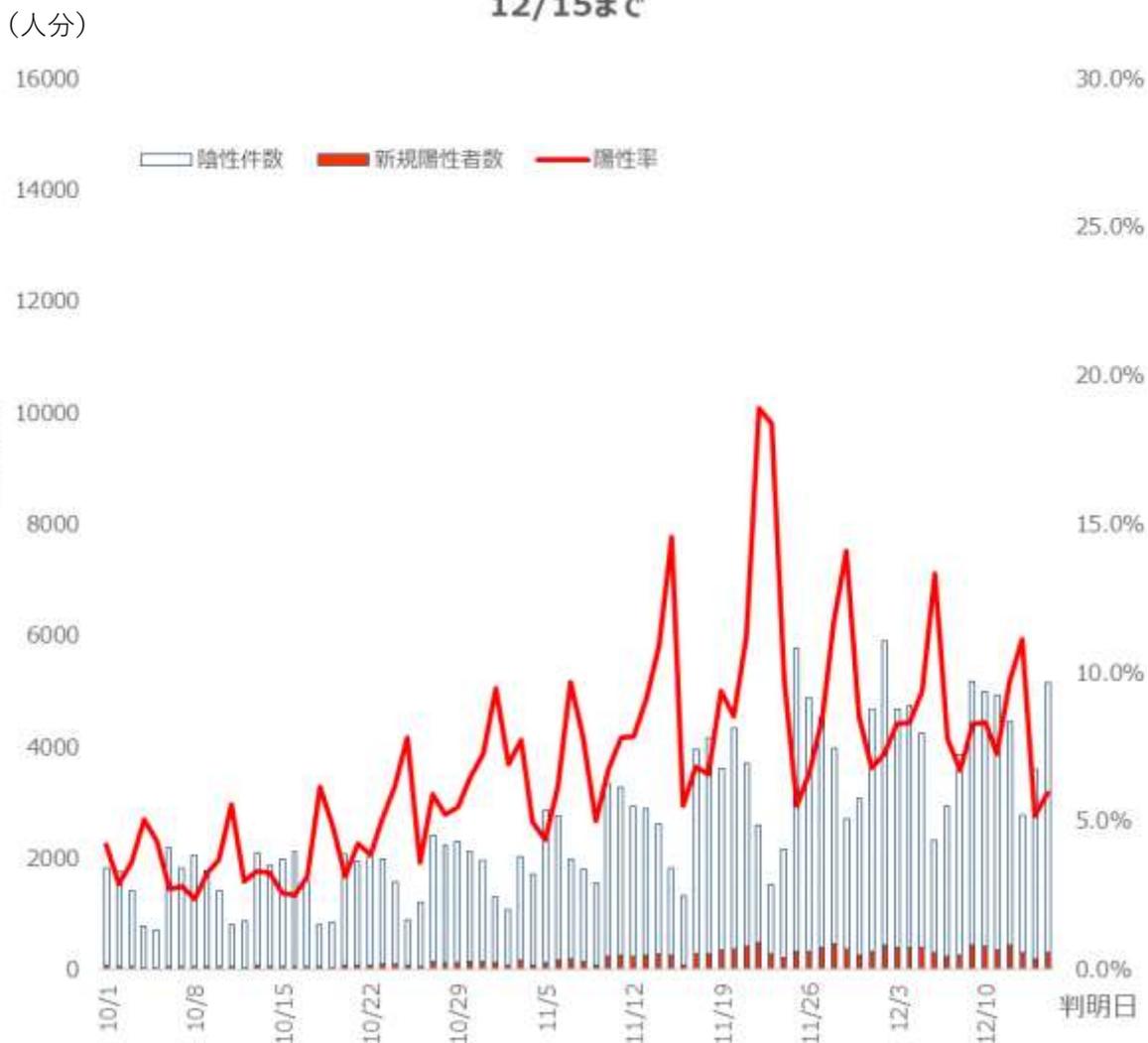
3月1日以降を「第四波」と総称して分析



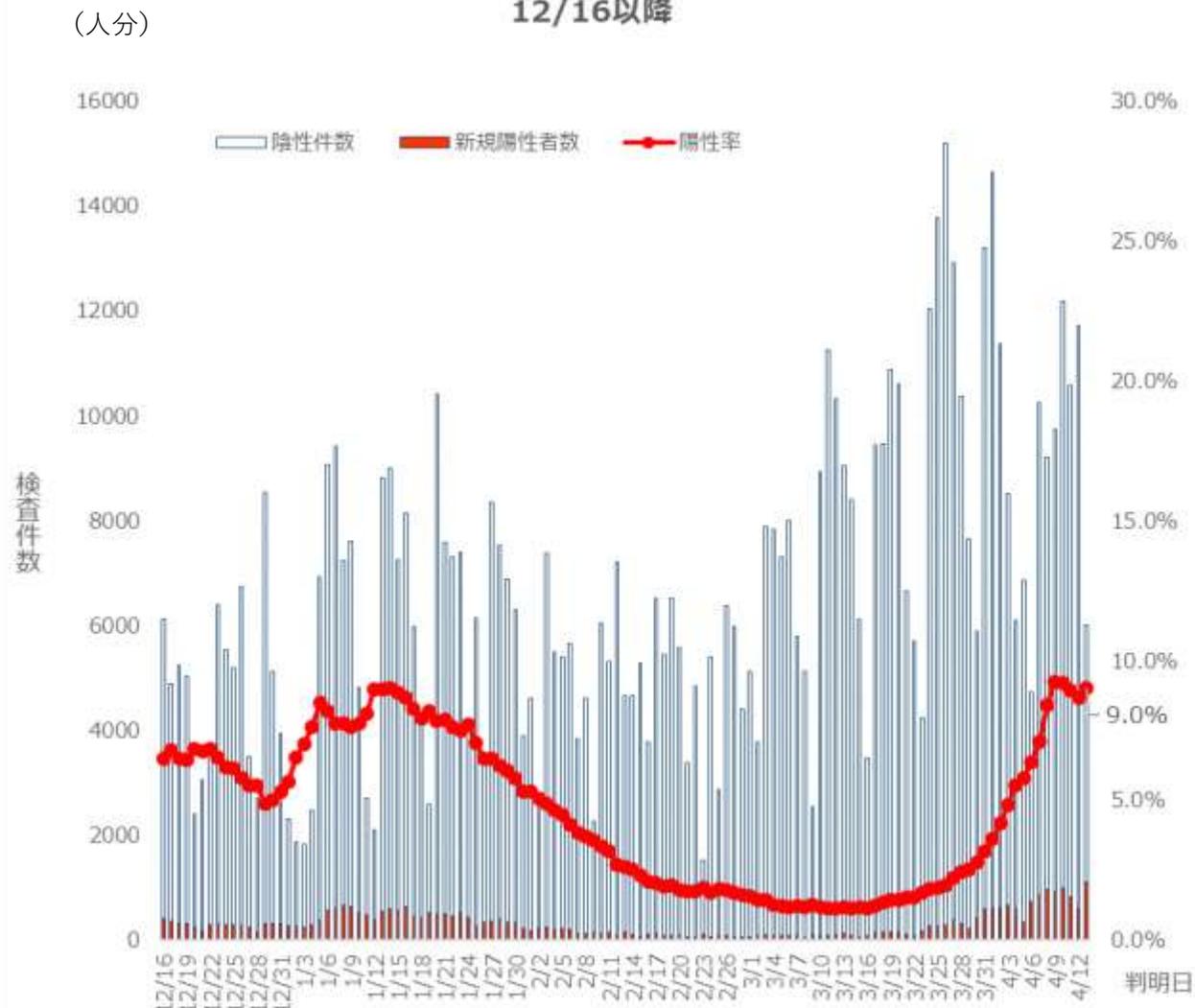
検査件数と陽性率

感染拡大に伴い、陽性率が急上昇。

12/15まで



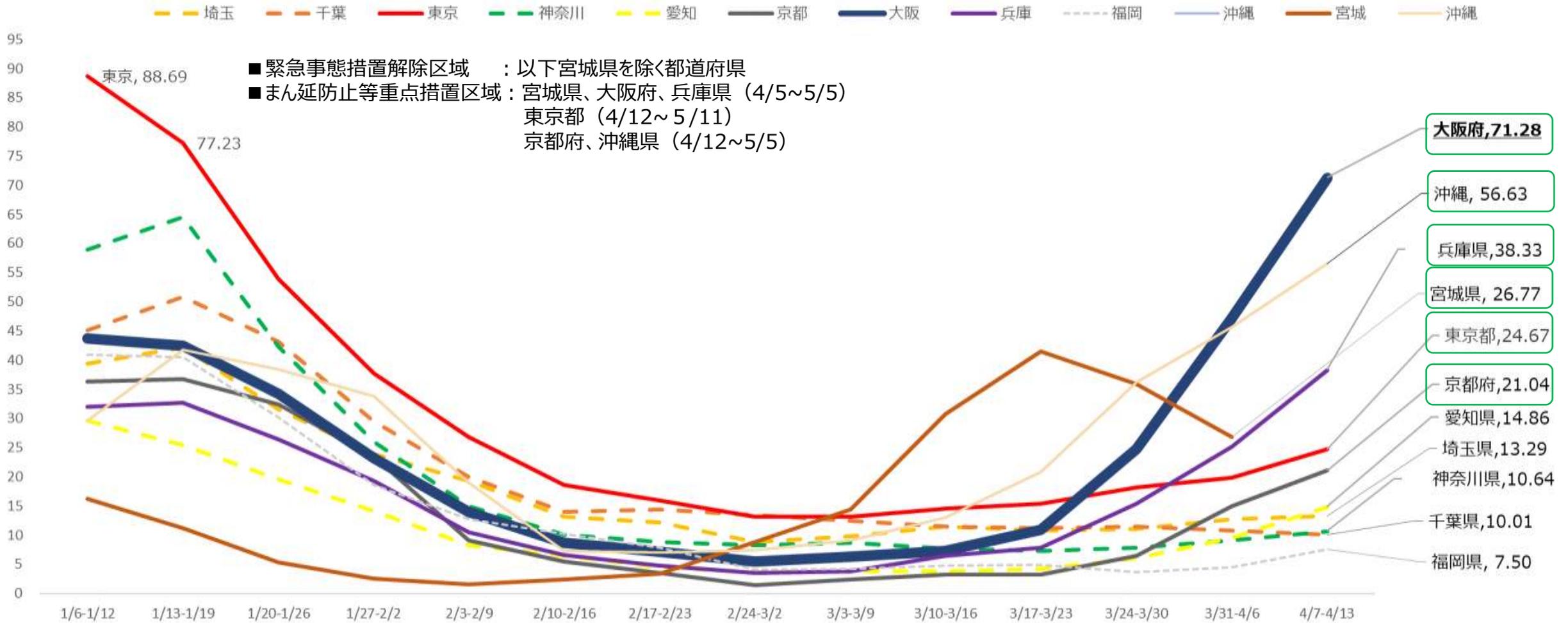
12/16以降



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数／1週間の検体採取をした人数」に変更

週・人口10万人あたり新規陽性者数（緊急事態措置解除区域及びまん延防止等重点措置区域）

同日にまん延防止等重点措置適用区域となった宮城県は新規陽性者数が減少しているが、大阪府及び兵庫県は急増。とりわけ、大阪府の新規陽性者数は急増し、1月の緊急事態宣言下の東京の発生状況（最大88.69人）に近づきつつある。

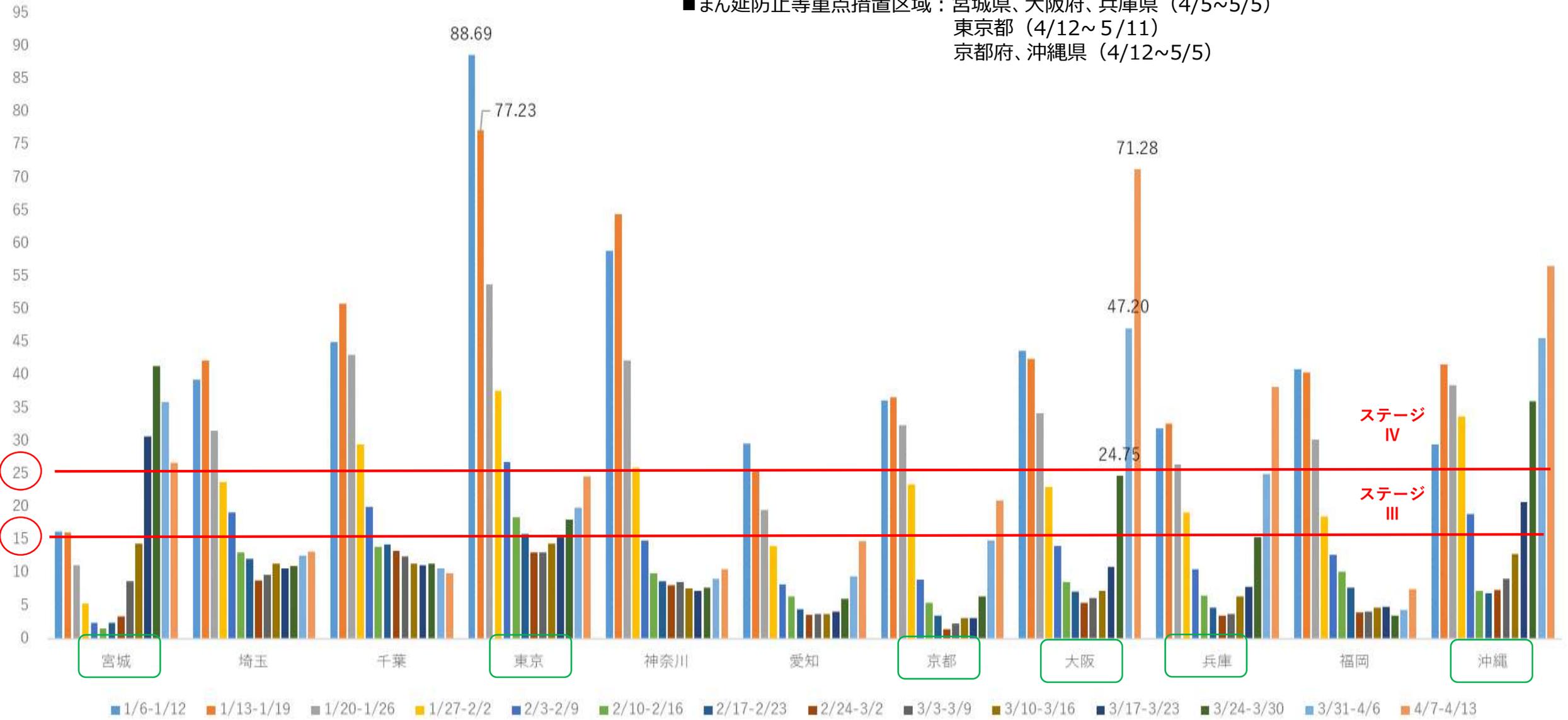


…まん延防止等重点措置区域

※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

週・人口10万人あたり新規陽性者数（緊急事態措置解除区域及びまん延防止等重点措置区域）

- 緊急事態措置解除区域：以下宮城県を除く都道府県
- まん延防止等重点措置区域：宮城県、大阪府、兵庫県（4/5~5/5）
東京都（4/12~5/11）
京都府、沖縄県（4/12~5/5）



…まん延防止等重点措置区域

※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

「大阪モデル」モニタリング指標の状況

重症病床使用率が急増（95.1%）。重症病床のひっ迫を受け、軽症中等症患者受入医療機関等において重症者を治療継続（4/13 20名）

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	現在の状況
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	1.85	1.74	1.67	1.66	1.60	1.61	1.55	3/31をピークに減少傾向
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	400.86	436.71	469.29	499.43	524.57	547.29	578.57	3/1以降、増加
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	66.0%	68.4%	67.5%	59.1%	65.7%	60.4%	63.3%	3/24以降、50%を超過したまま推移
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	4440	4781	5095	5420	5654	5916	6283	3/3以降増加
	うち後半3日間		—	—	—	1952	2568	2763	2875	2745	2421	2529	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	50.37	54.24	57.80	61.49	64.14	67.11	71.28	3/31に25人（ステージⅣ基準）超過して以降急増
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	7.1%	8.4%	9.2%	9.2%	8.9%	8.7%	9.0%	3/17以降、増加
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床使用率		70%以上 （「警戒（黄色）」信号が点灯した日から起算して25日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	69.2%	72.8%	76.3%	81.3%	83.9%	90.6%	95.1%	4/10以降連日過去最多（第一波を除く）
	【参考③】患者受入軽症中等症病床使用率	—	—	—	—	49.9%	51.6%	54.0%	57.5%	60.6%	61.9%	63.2%	3/14以降増加
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数使用率	—	—	—	—	37.8%	37.5%	37.1%	31.2%	31.7%	32.4%	32.7%	4/5をピークに減少傾向

重症者数は、対応できる人材や設備が整っている軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数を除いた数。

4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪市域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）

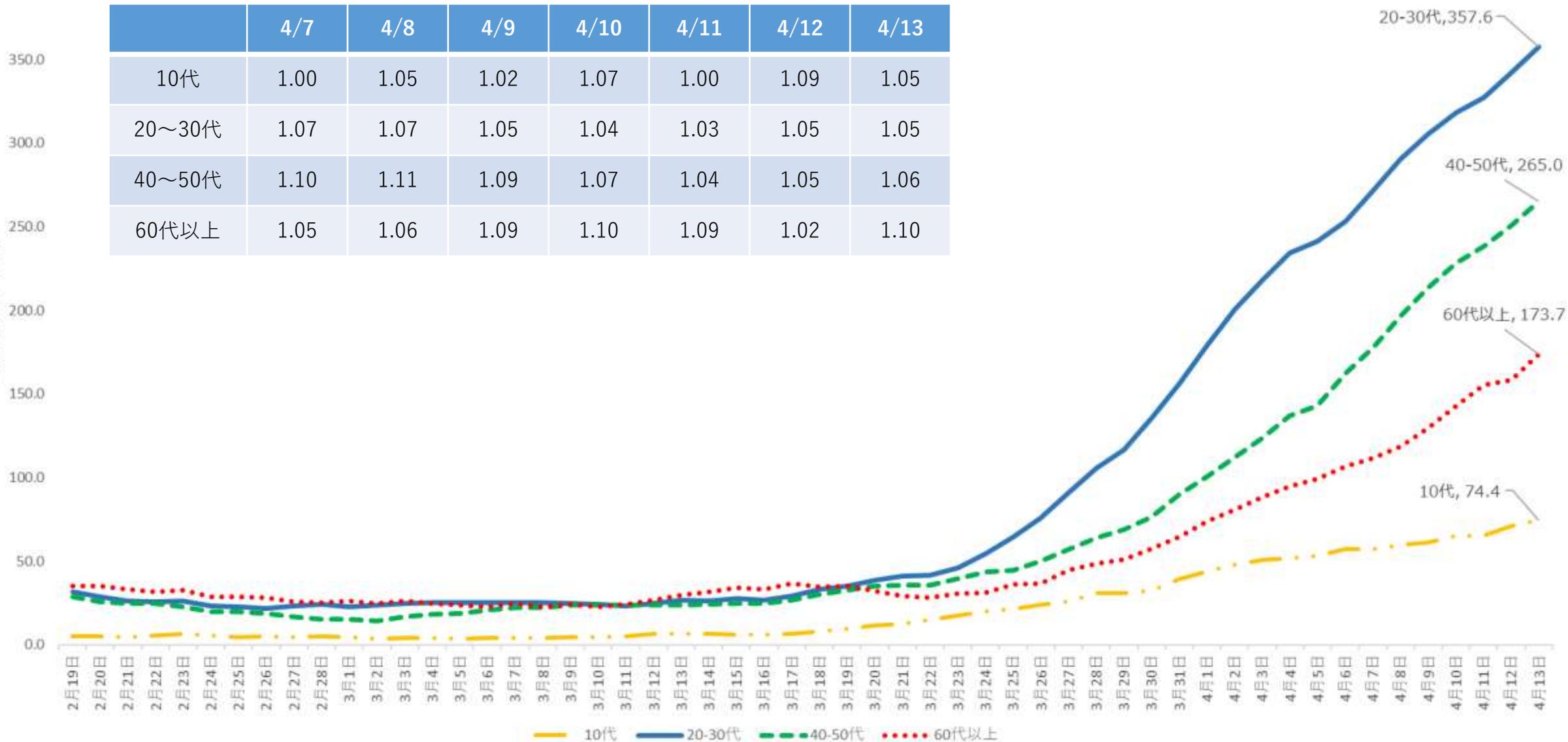
年代別新規陽性者数（7日間移動平均）の推移（日別）

各年代で新規陽性者数移動平均が増加し続けており、鈍化の傾向が見られない。

400.0 <前日比>

	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13
10代	1.00	1.05	1.02	1.07	1.00	1.09	1.05
20～30代	1.07	1.07	1.05	1.04	1.03	1.05	1.05
40～50代	1.10	1.11	1.09	1.07	1.04	1.05	1.06
60代以上	1.05	1.06	1.09	1.10	1.09	1.02	1.10

年代別新規陽性者



新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

4月5日に、陽性率を除き、ステージⅣの基準を上回り、各指標の数値は以後も急上昇。

指標		ステージⅣ 目安	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/13時点の 目安に対する状況
医療提供体制等の負荷	最大確保病床の占有率	50%以上	51.3% (1,037/2,021)	53.1% (1,074/2,021)	55.7% (1,125/2,021)	59.2% (1,197/2,021)	62.3% (1,259/2,021)	64.4% (1,302/2,021)	66.2% (1,338/2,021)	●
	重症病床 最大確保病床の占有率	50%以上	46.5% (214/460)	48.5% (223/460)	50.0% (230/460)	53.4% (248/460)	57.3% (266/460)	60.6% (281/460)	63.8% (296/460)	●
	人口10万人あたり療養者数	25人以上	70.16	77.05	84.04	88.92	94.68	96.62	108.02	●
監視体制	陽性率 1週間平均	10%以上	7.1%	8.4%	9.2%	9.2%	8.9%	8.7%	9.0%	○
感染の状況	直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	25人以上	50.37	54.24	57.80	61.49	64.14	67.11	71.28	●
	直近一週間と先週一週間の比較	1より大きい	1.76 (4,440/2,520)	1.67 (4,781/2,870)	1.60 (5,095/3,183)	1.57 (5,420/3,463)	1.51 (5,654/3,733)	1.53 (5,916/3,861)	1.51 (6,283/4,161)	●
	感染経路不明割合 1週間平均	50%以上	63.2%	63.9%	64.5%	64.5%	64.9%	64.8%	64.5%	●

病床確保計画に定める「最大確保病床」を「現時点の確保病床」が上回る場合は、「現時点の確保病床数」に読み替える。

重症者数は、対応できる人材や設備が整っている軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数を含めた数。

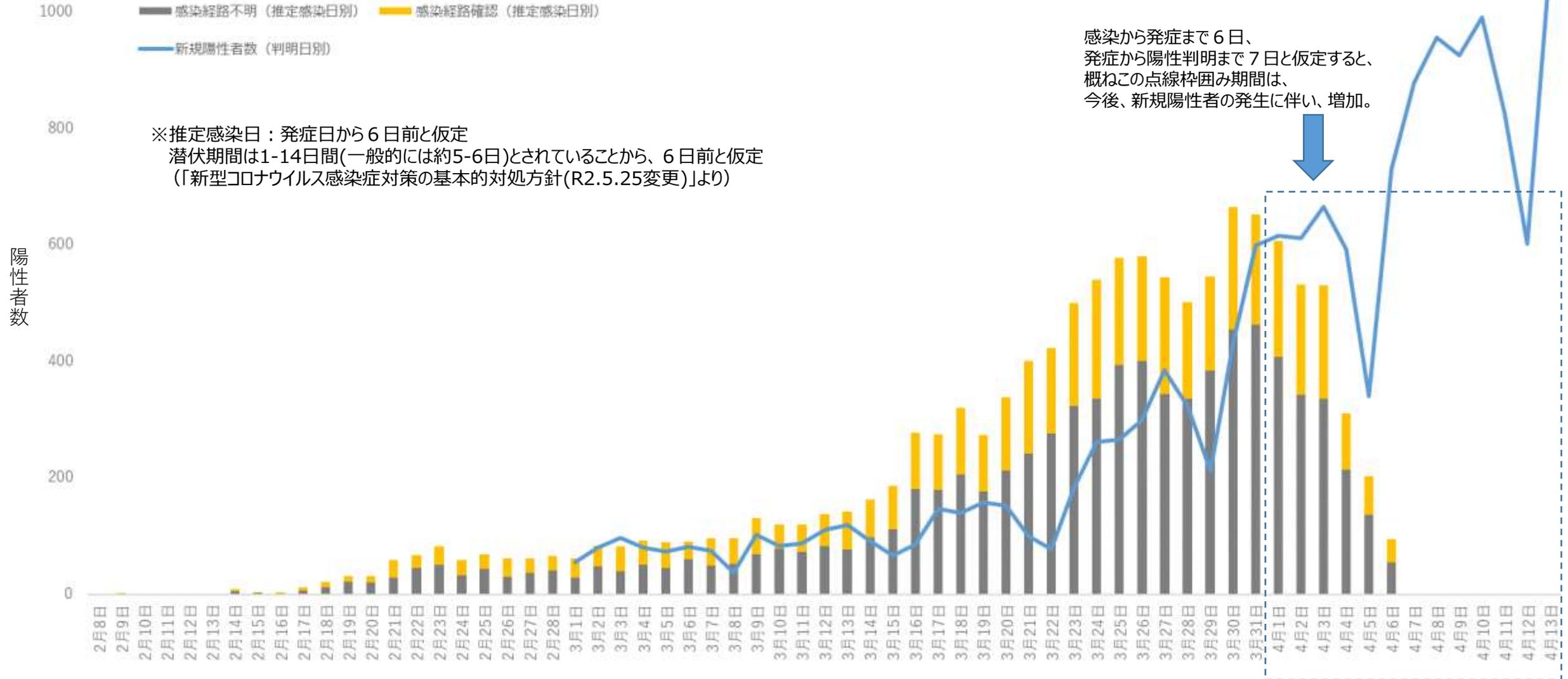
4/1 まん延防止等重点措置適用（4/5～）を受け、大阪地域の飲食店・遊興施設に対する時短要請（20時まで）を決定（第43回対策本部会議）
4/7 大阪モデル赤信号点灯（医療非常事態宣言）、府域における不要不急の外出移動自粛要請等を決定（第44回対策本部会議）

●：基準外 ○：基準内

【第四波】推定感染日別陽性者数（4月13日時点）

3月中旬以降に感染したと推定される陽性者が急増。

（3月1日以降4月13日までの判明日分）（N=12,078名（調査中、不明、無症状2,846名を除く））

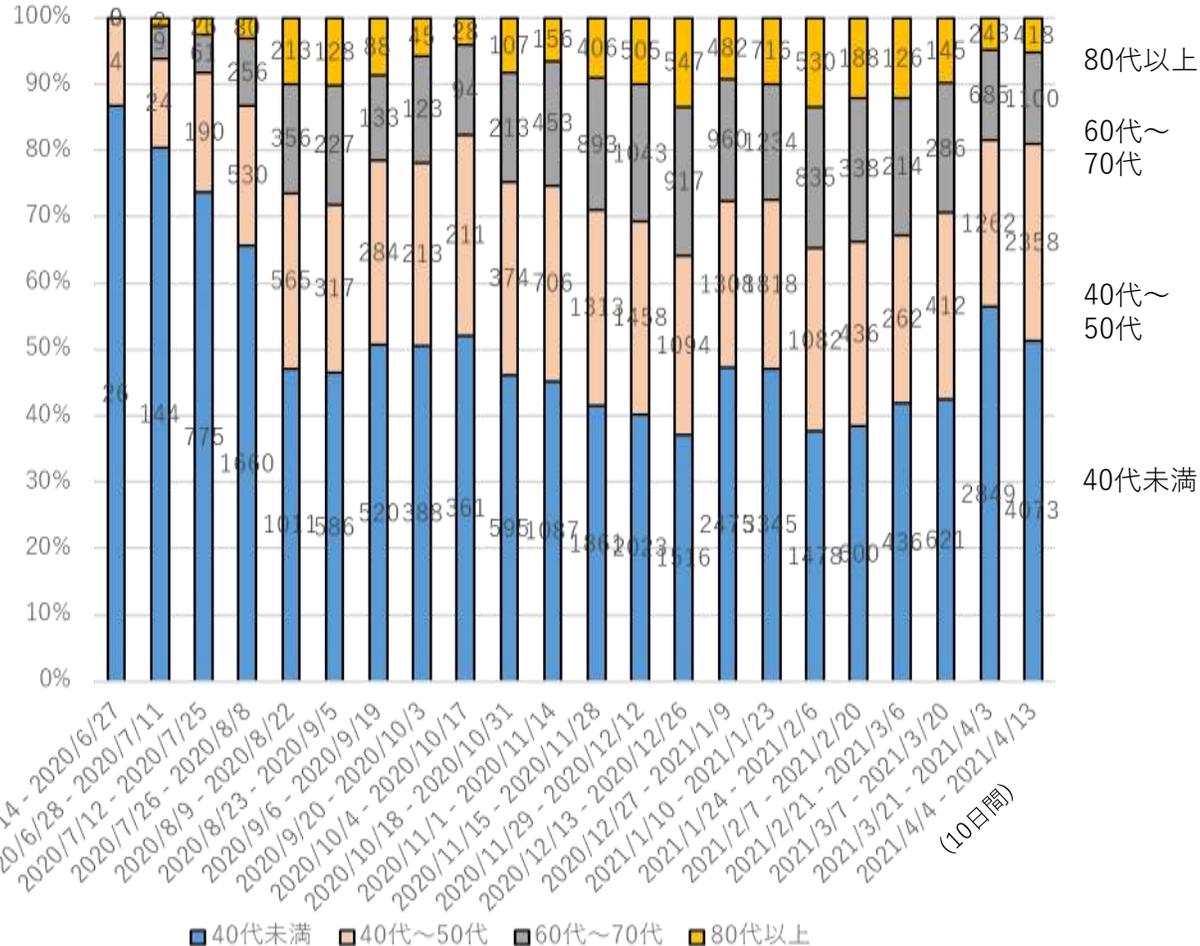


陽性者の年齢区分

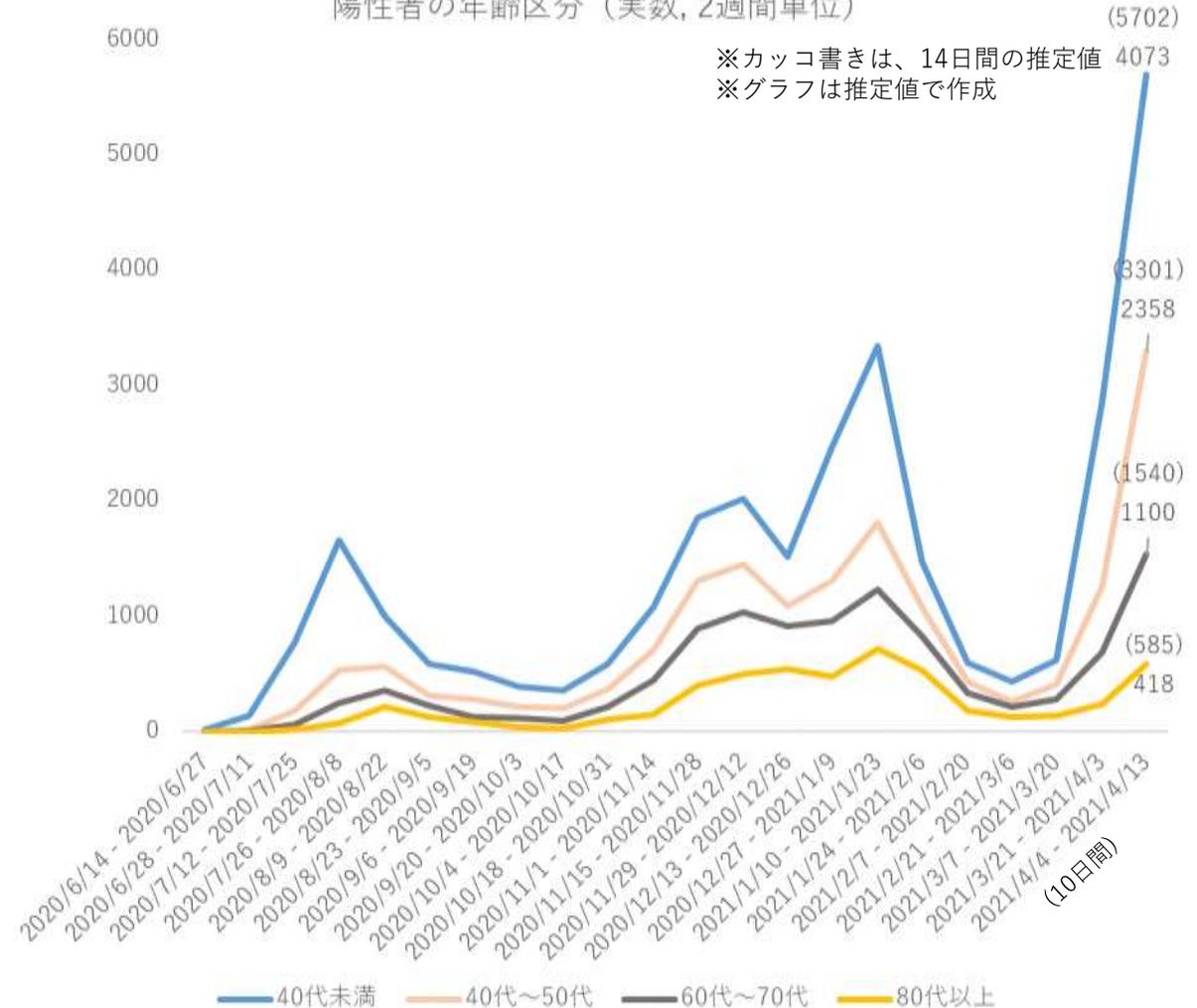
直近10日間で、40代未満の割合が5割弱と引き続き高く、実数でも急増。

(6月14日以降4月13日までに判明した60,260事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)

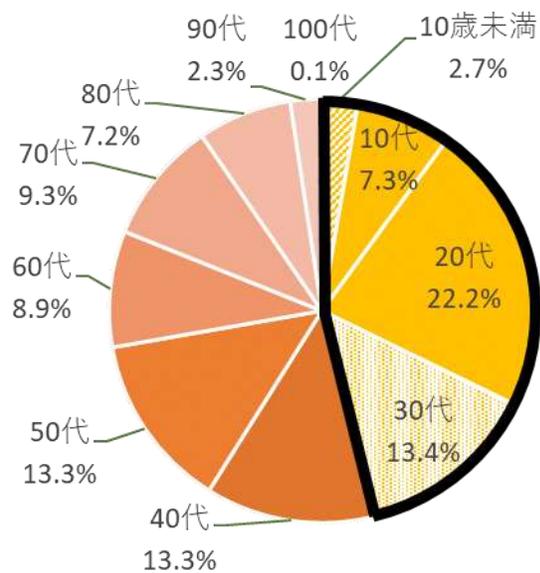


年代別新規陽性者の割合

第三波と異なり、第四波（3月中旬以降）は、30代以下の割合が急増し、5割を超過。

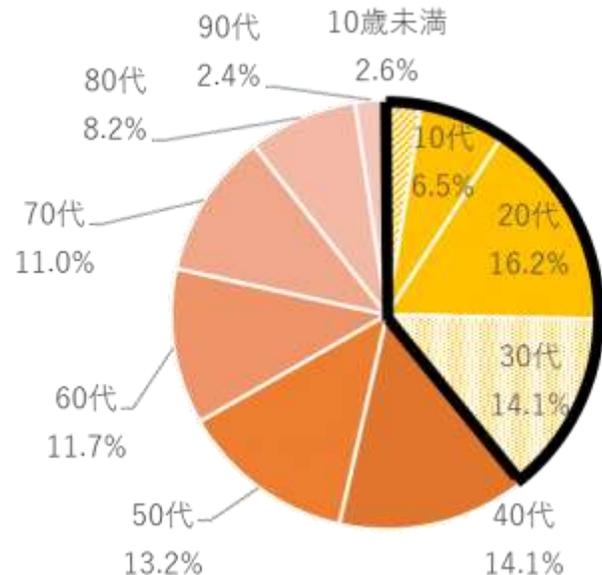
※変異株陽性者の年齢構成は、30代以下の割合が6割弱と高い。なお、変異株陽性者は、従来に比べ、10歳未満の割合が大きい。

第三波
(10月10日～2月28日)



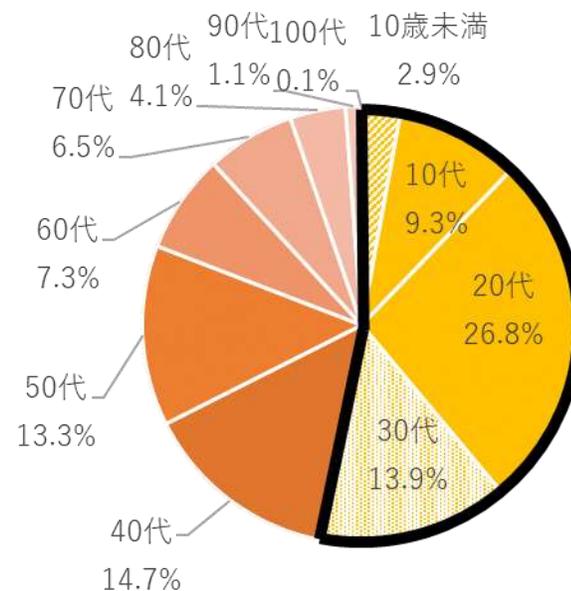
30代以下割合 45.6%
(うち、20代以下 32.2%)

第四波①
(3月1日～3月14日)



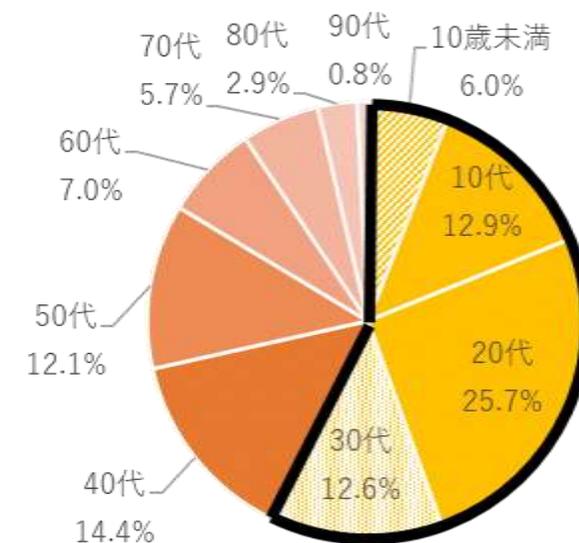
30代以下割合 39.4%
(うち、20代以下 25.3%)

第四波②
(3月15日～4月13日)



30代以下割合 52.9%
(うち、20代以下 39.0%)

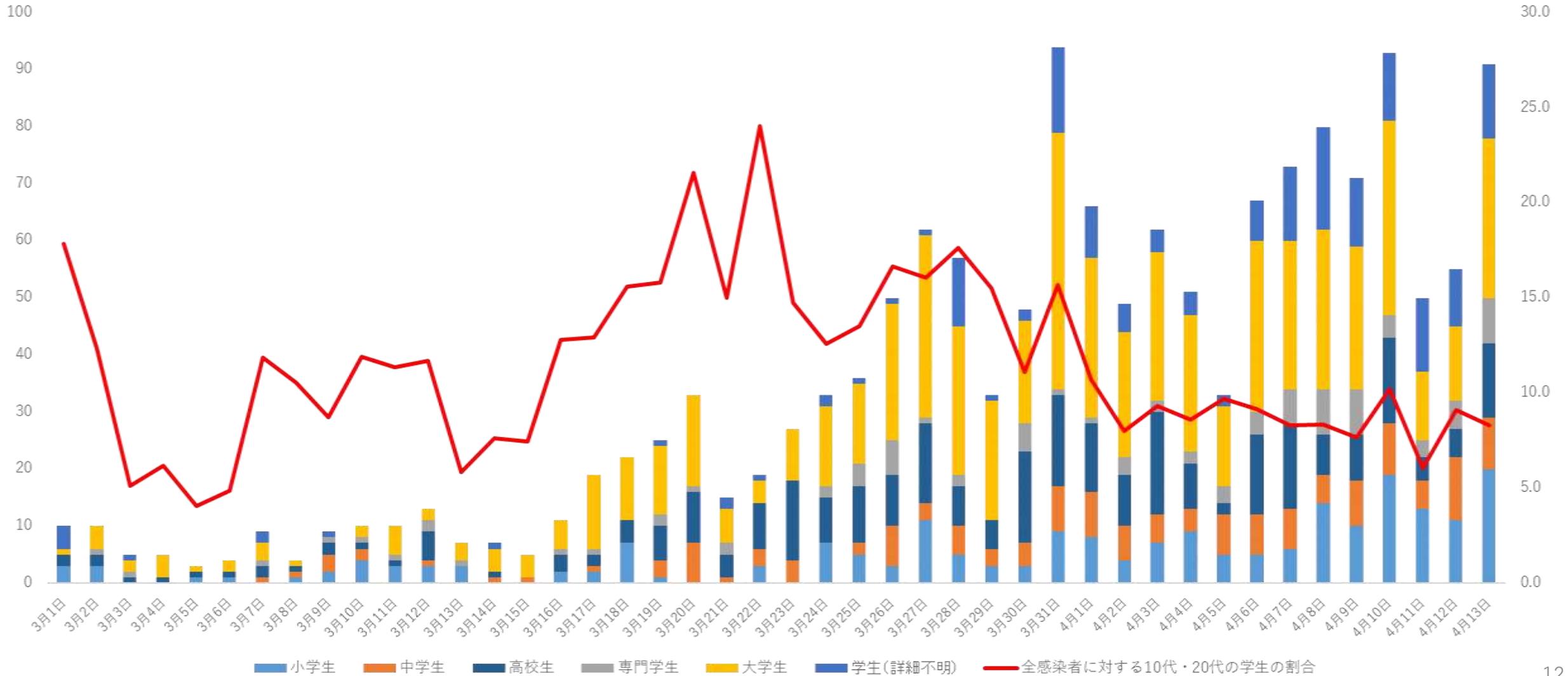
変異株陽性者



30代以下割合 57.2%
(うち、20代以下 44.6%)

小・中・高・大学生等の感染状況

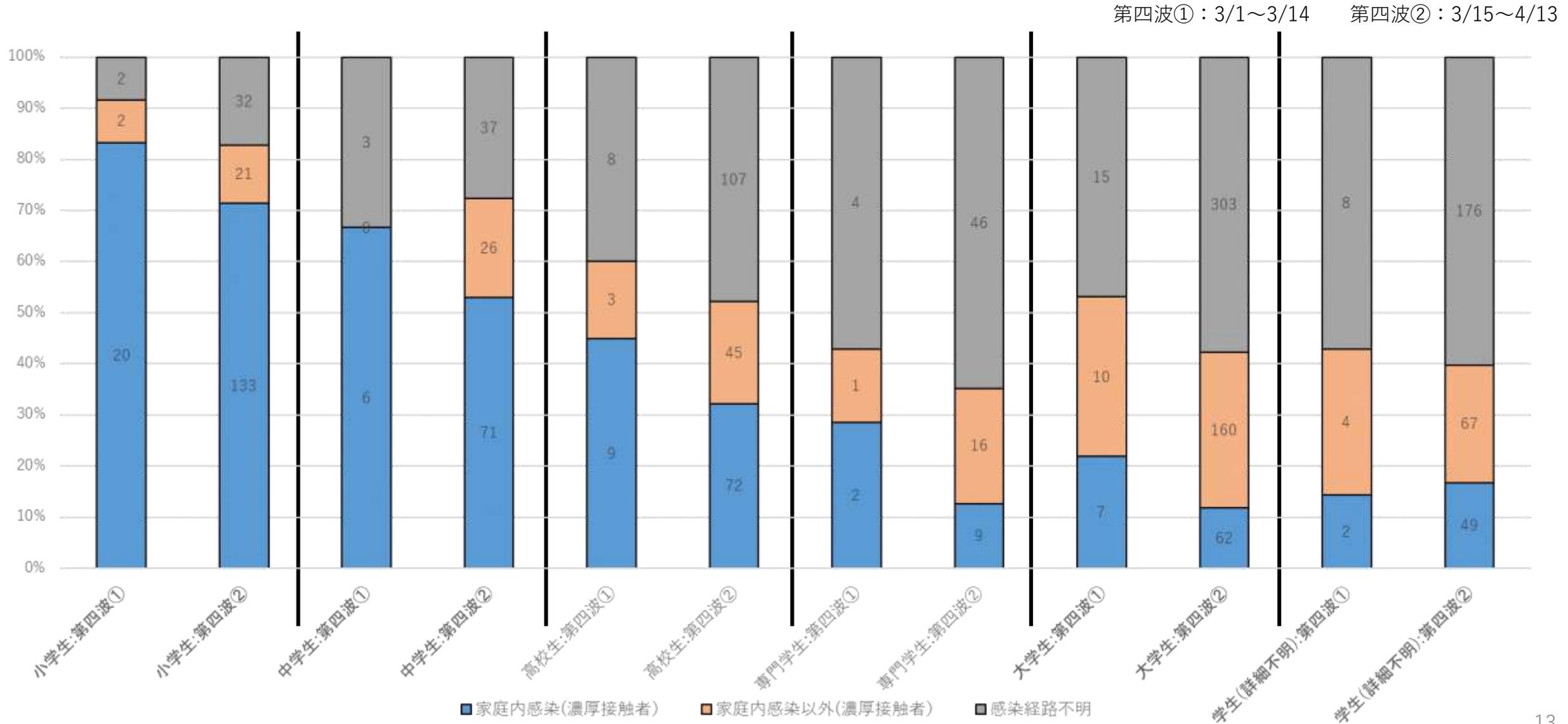
3月中旬より、大学生を中心に学生の陽性者が増加し、春休み終了後も一定規模で発生。



※分類は本人からの聞き取り情報による

小・中・高・大学生等の感染経路

校種別いずれも、3月後半以降、家庭内感染以外での濃厚接触者や感染経路不明の割合が増加。



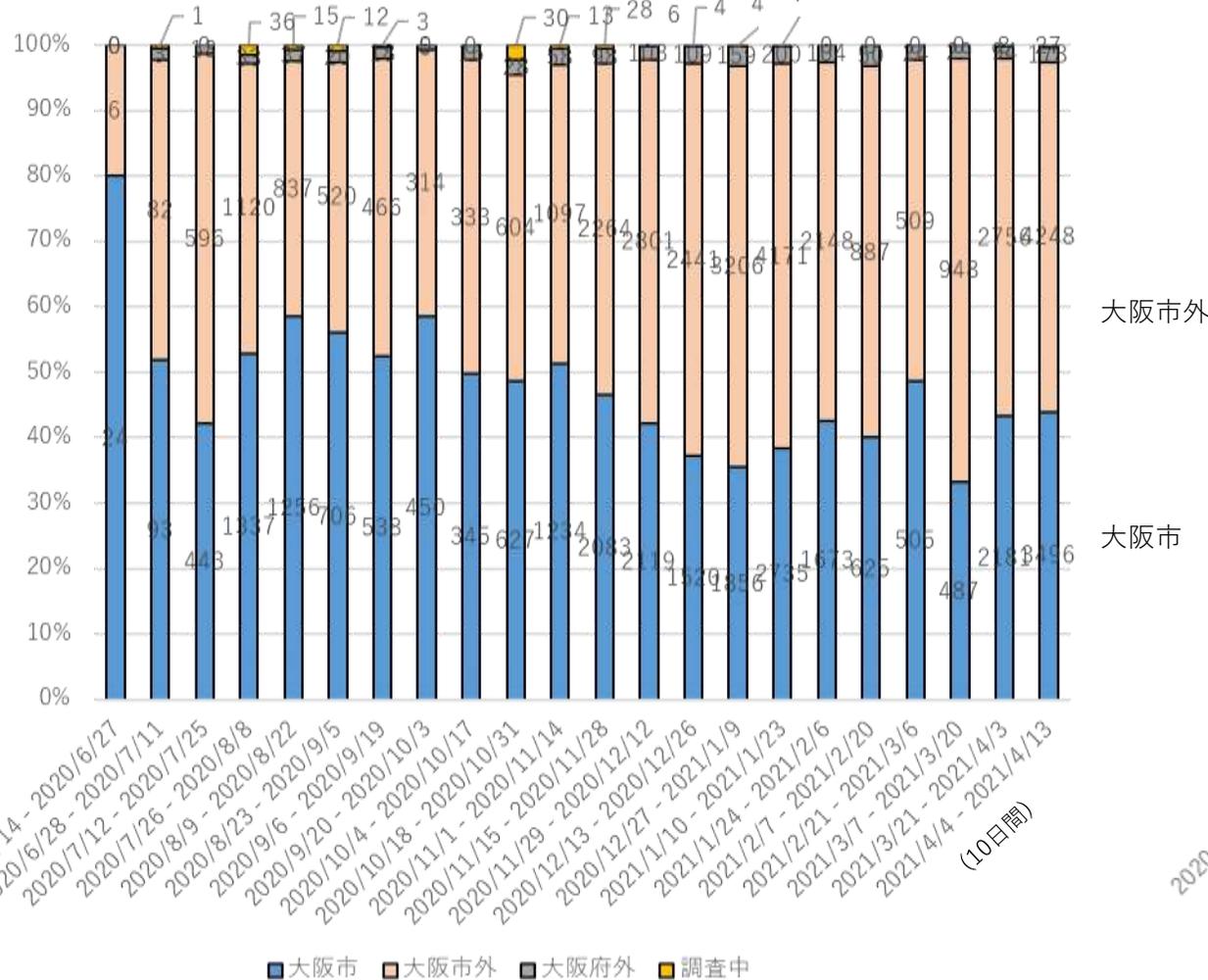
※分類は本人からの聞き取り情報による

陽性者の居住地

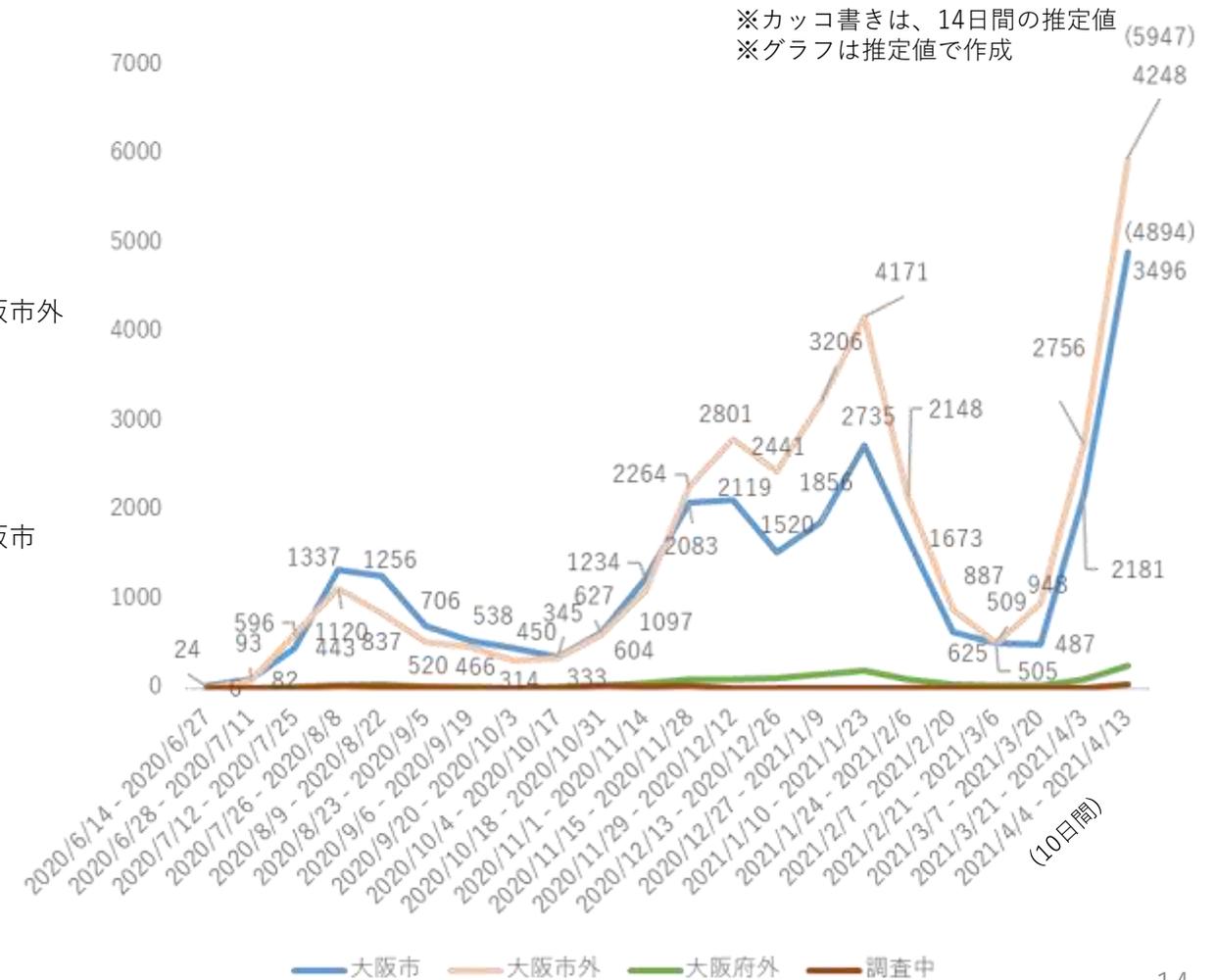
直近10日間で、大阪市内居住者・市街居住者の割合に大きな変化はないが、実数はともに急増。

(6月14日以降4月13日までに判明した60,260事例の状況)

陽性者の居住地区分 (割合, 2週間単位)



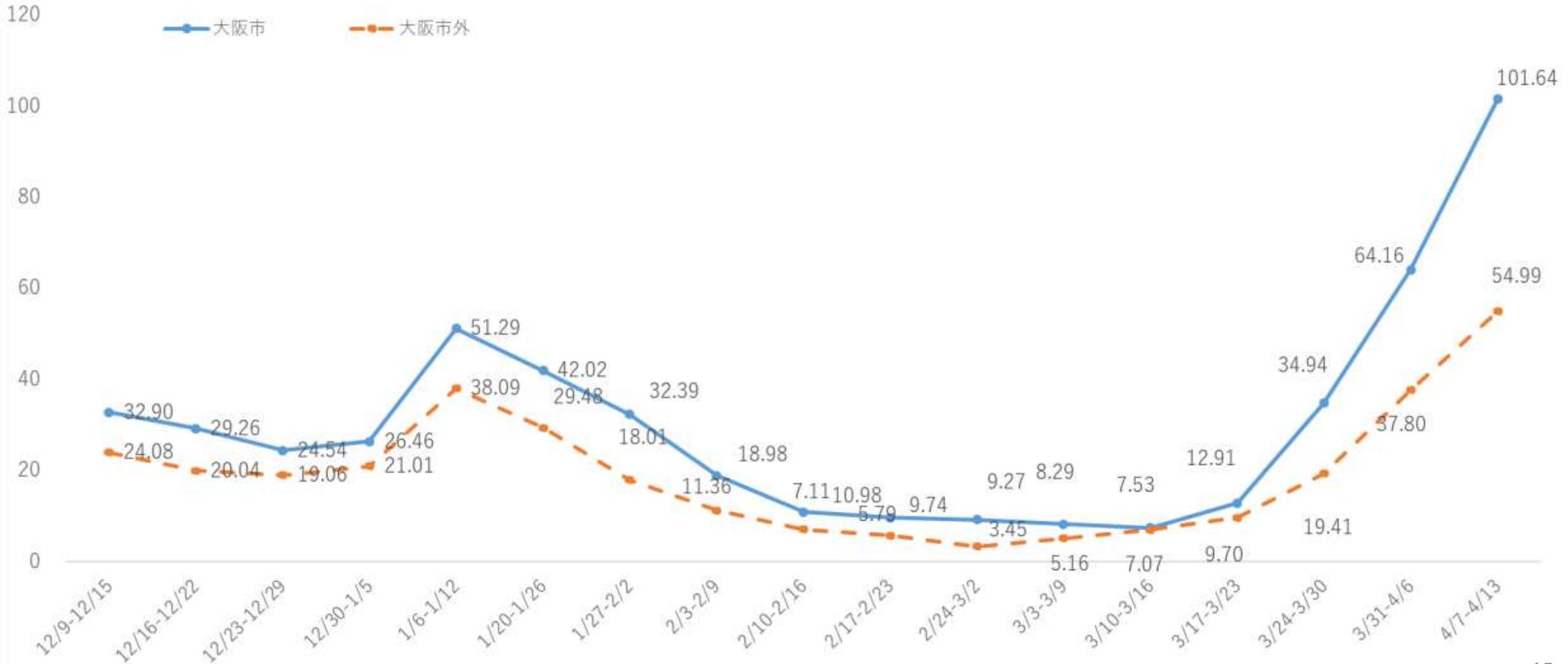
陽性者の居住地区分 (実数, 2週間単位)



大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 1週間単位）

※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

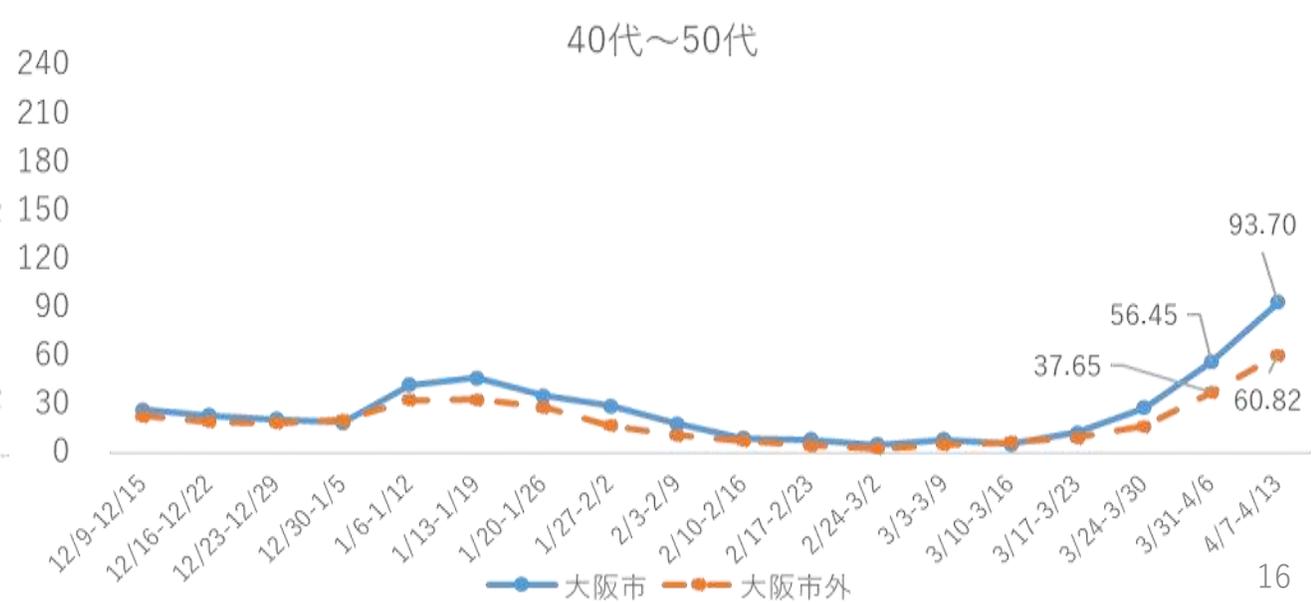
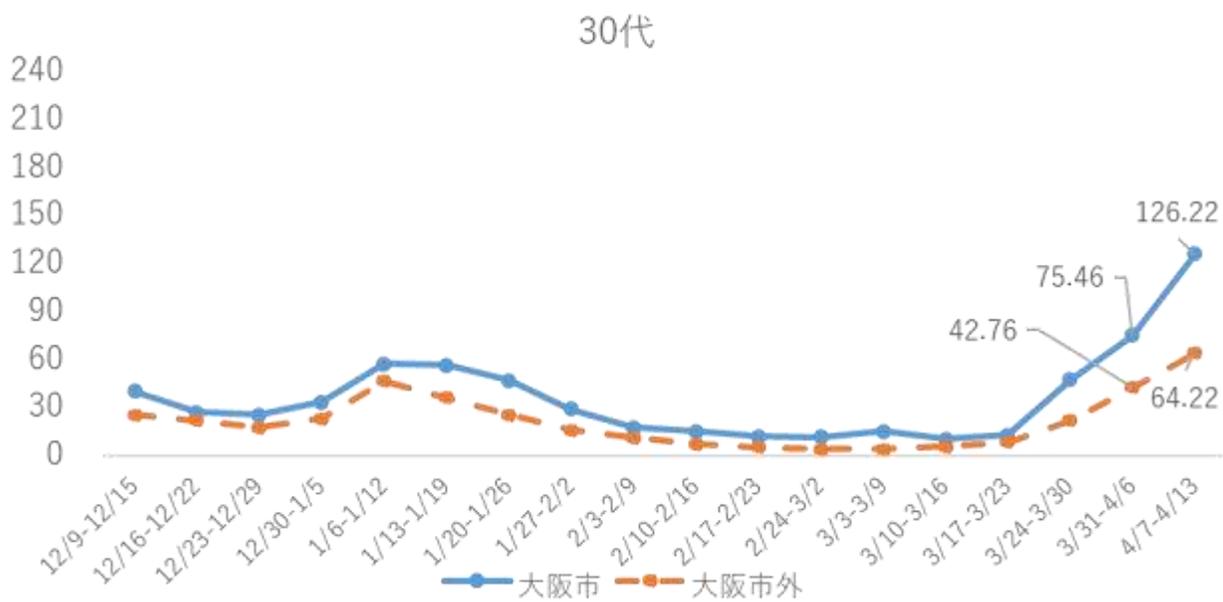
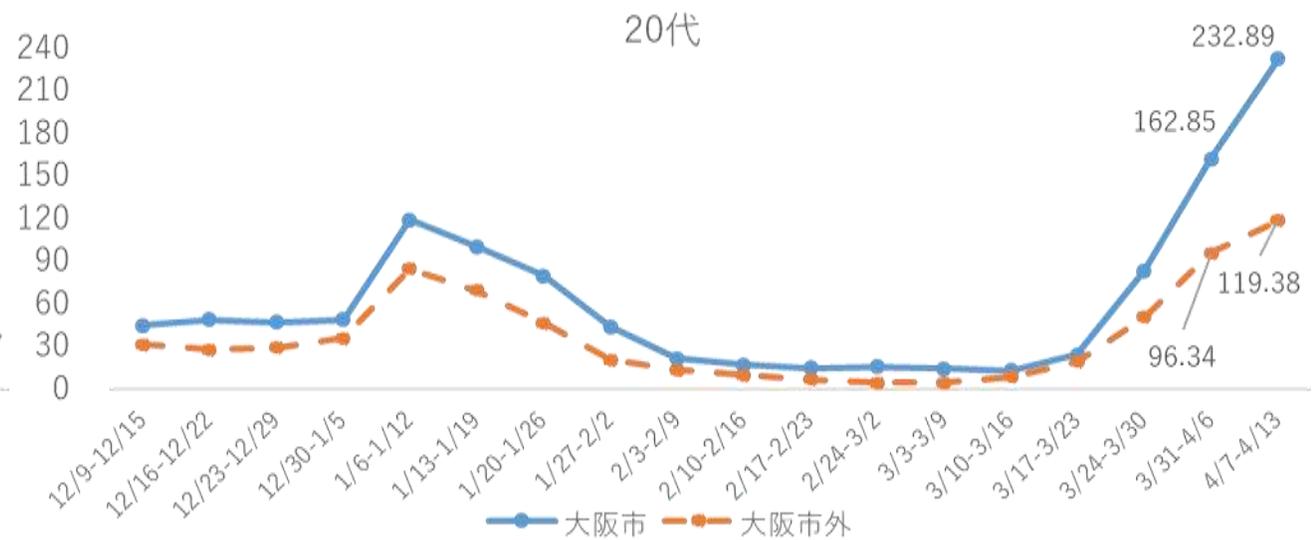
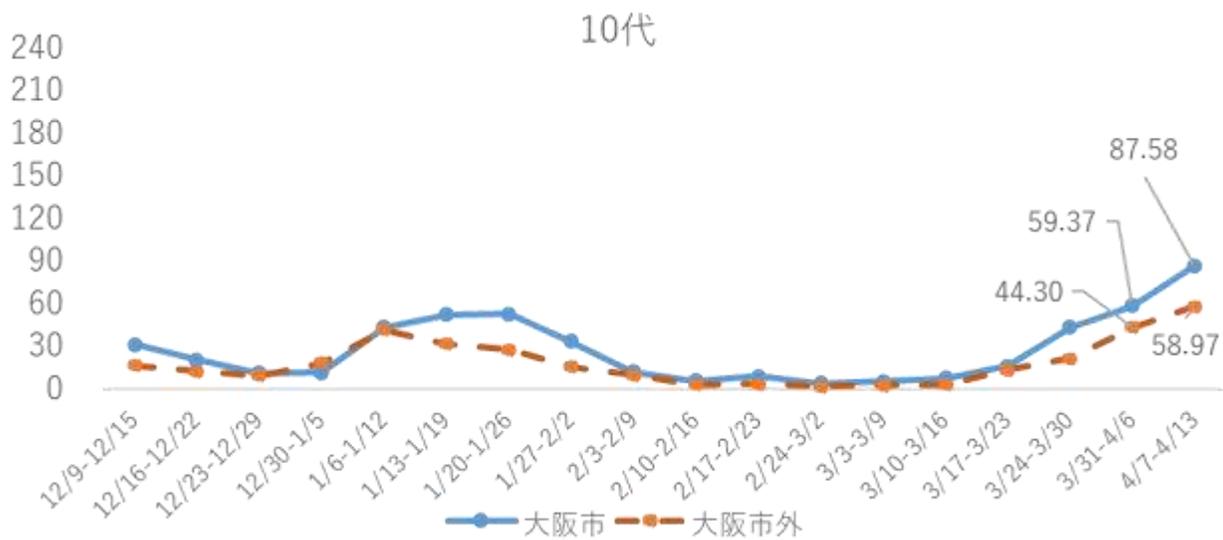
直近3週間で、大阪市内居住者は約7.9倍、大阪市外居住者は約5.7倍と急増し、いずれも1月の緊急事態宣言発出直後の最大人数を大きく上回っている。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

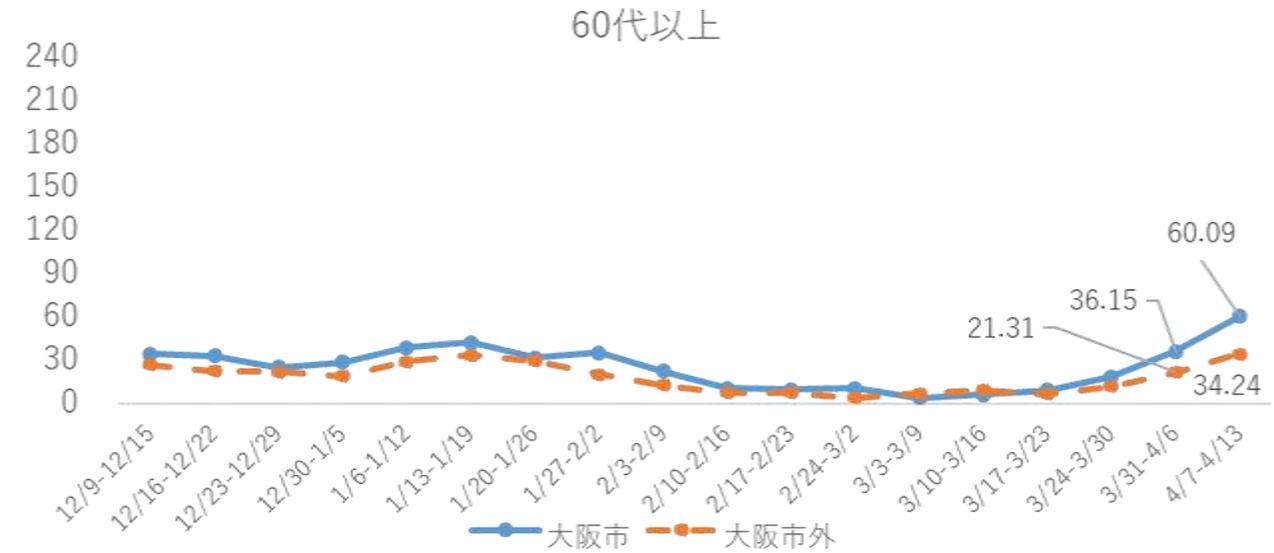
人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外・各年代で急増。



大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

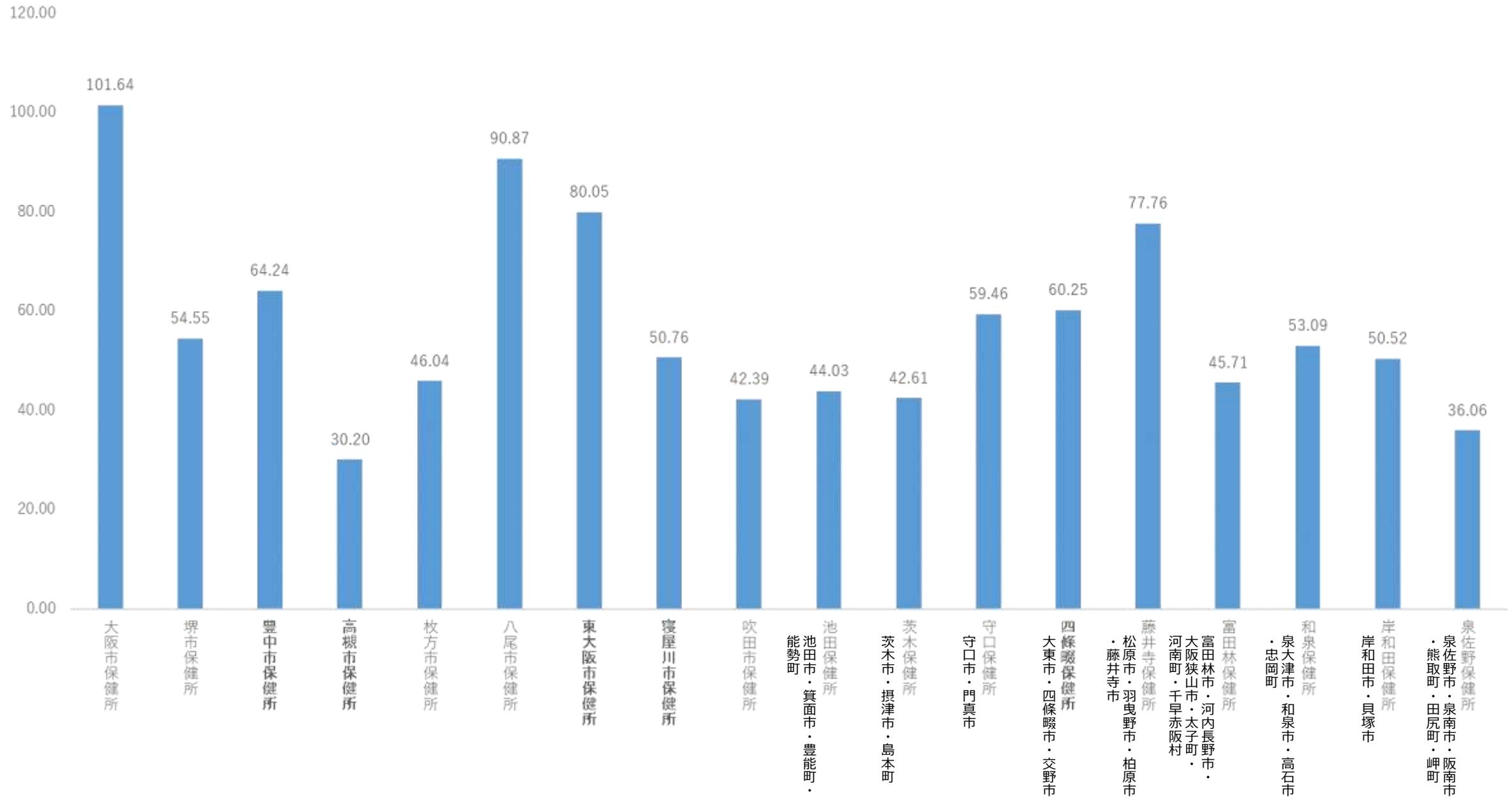
※市内外は居住地による
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

60代以上の人口10万人あたり新規陽性者数は、市内外ともに急増。



保健所管内別陽性者比較（人口10万人あたり 4月7日から13日）

※居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

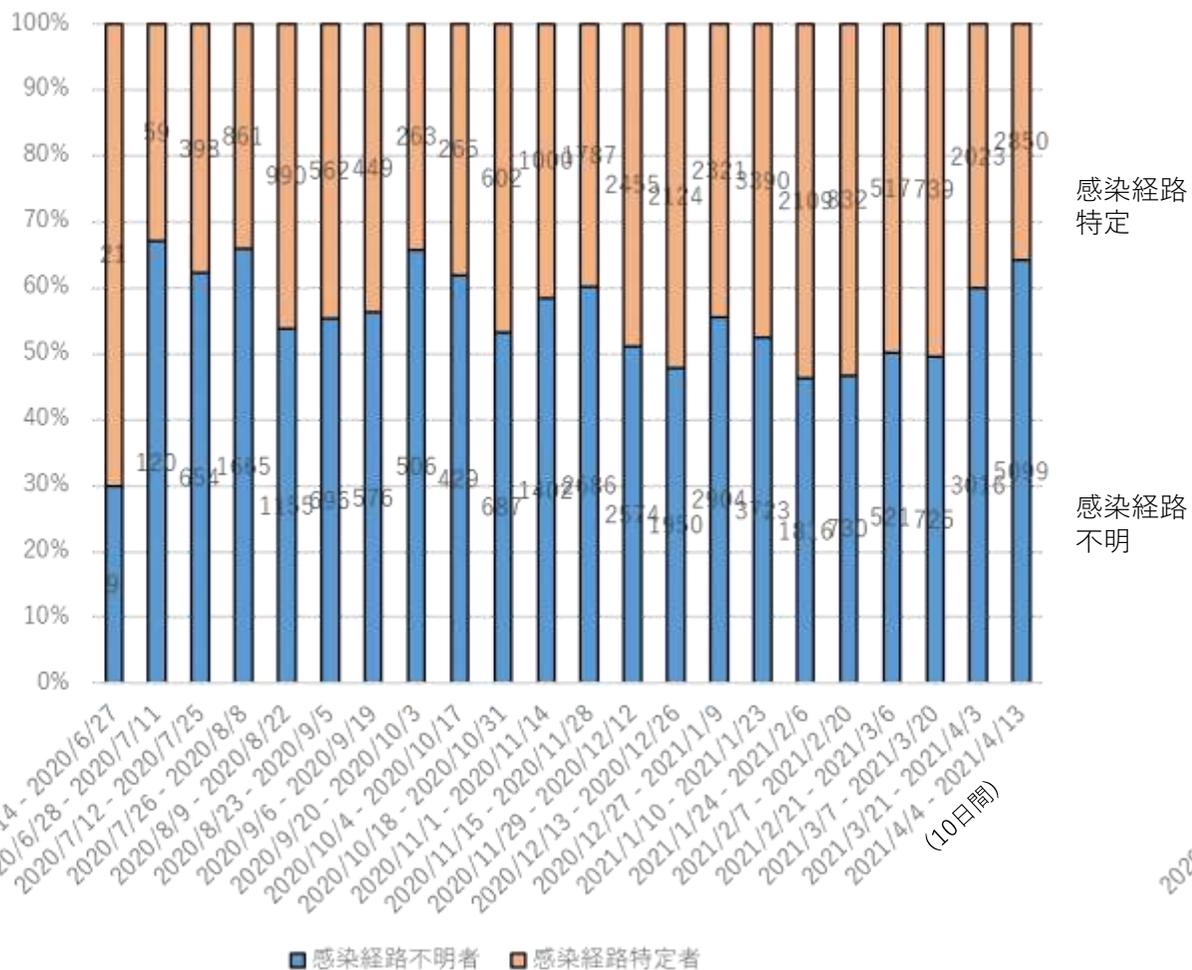


陽性者の感染経路の状況

直近10日間で、感染経路不明の割合が6割強まで増加し、実数でも感染経路不明者数が急増。

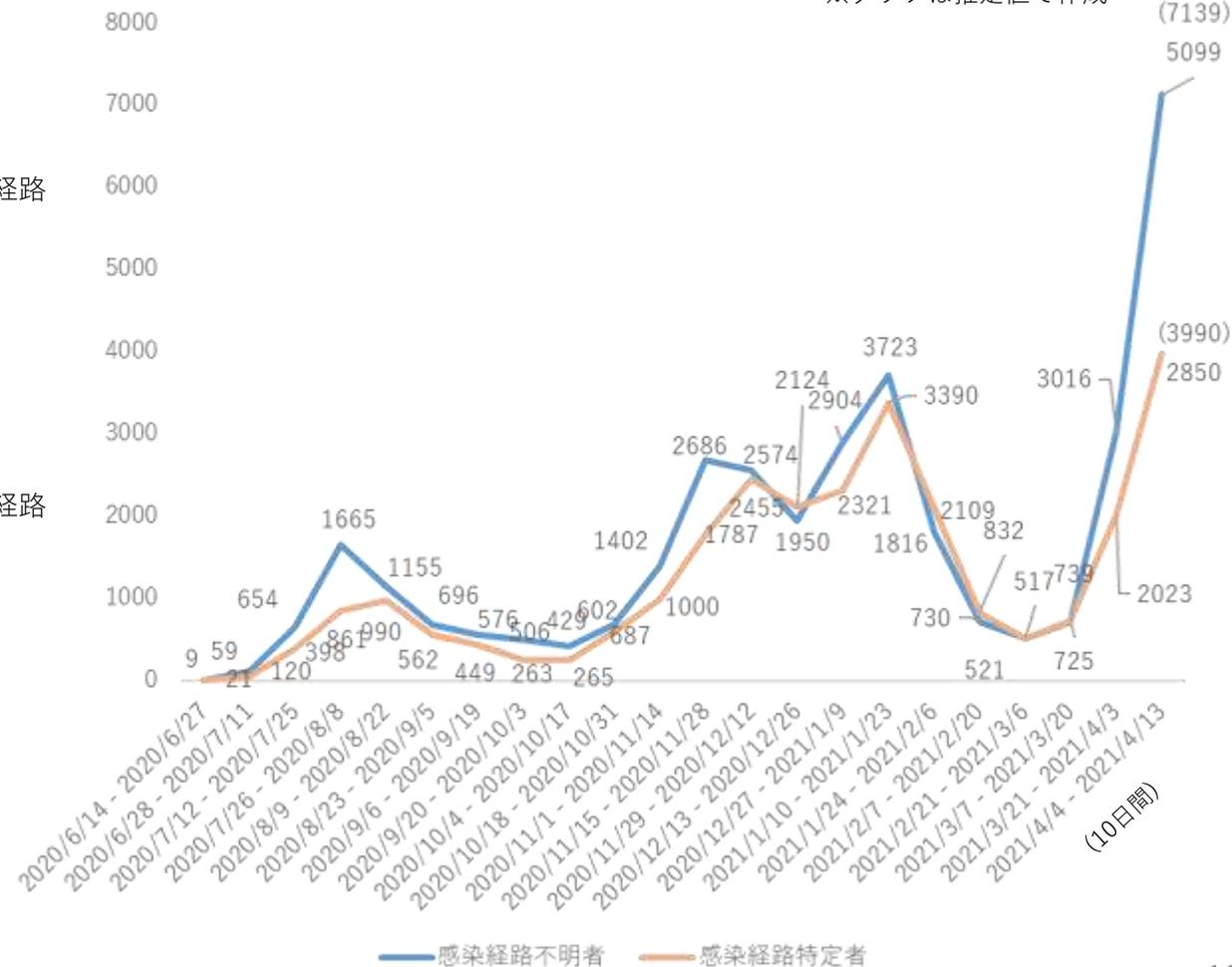
(6月14日以降4月13日までに判明した60,260事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)

※カッコ書きは、14日間の推定値
※グラフは推定値で作成

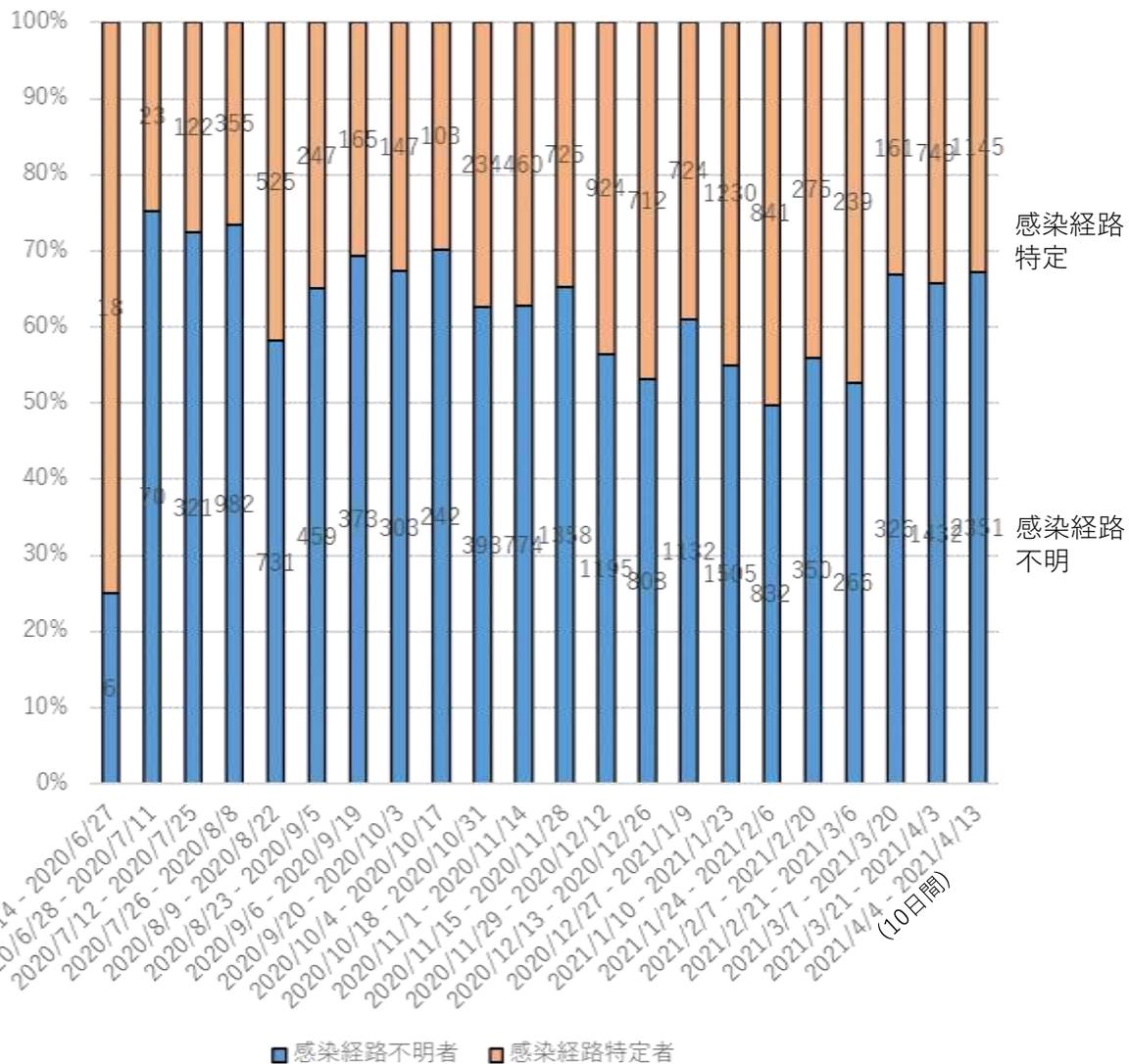


陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

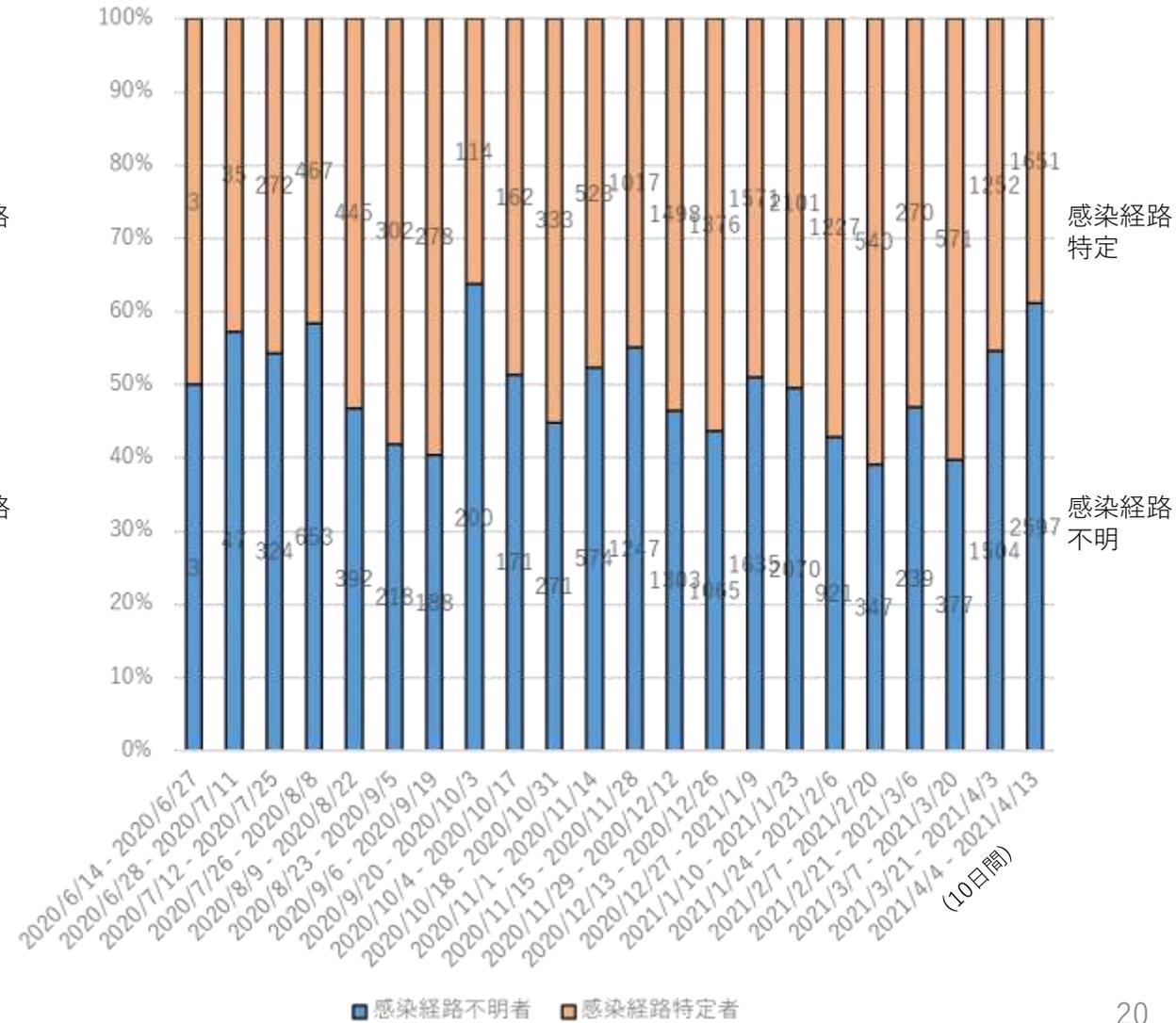
※市内外は居住地による
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

直近10日間における感染経路不明割合は、市内居住者が7割弱と依然高く、市外居住者も増加し、6割を超過。

感染経路の状況（大阪市）



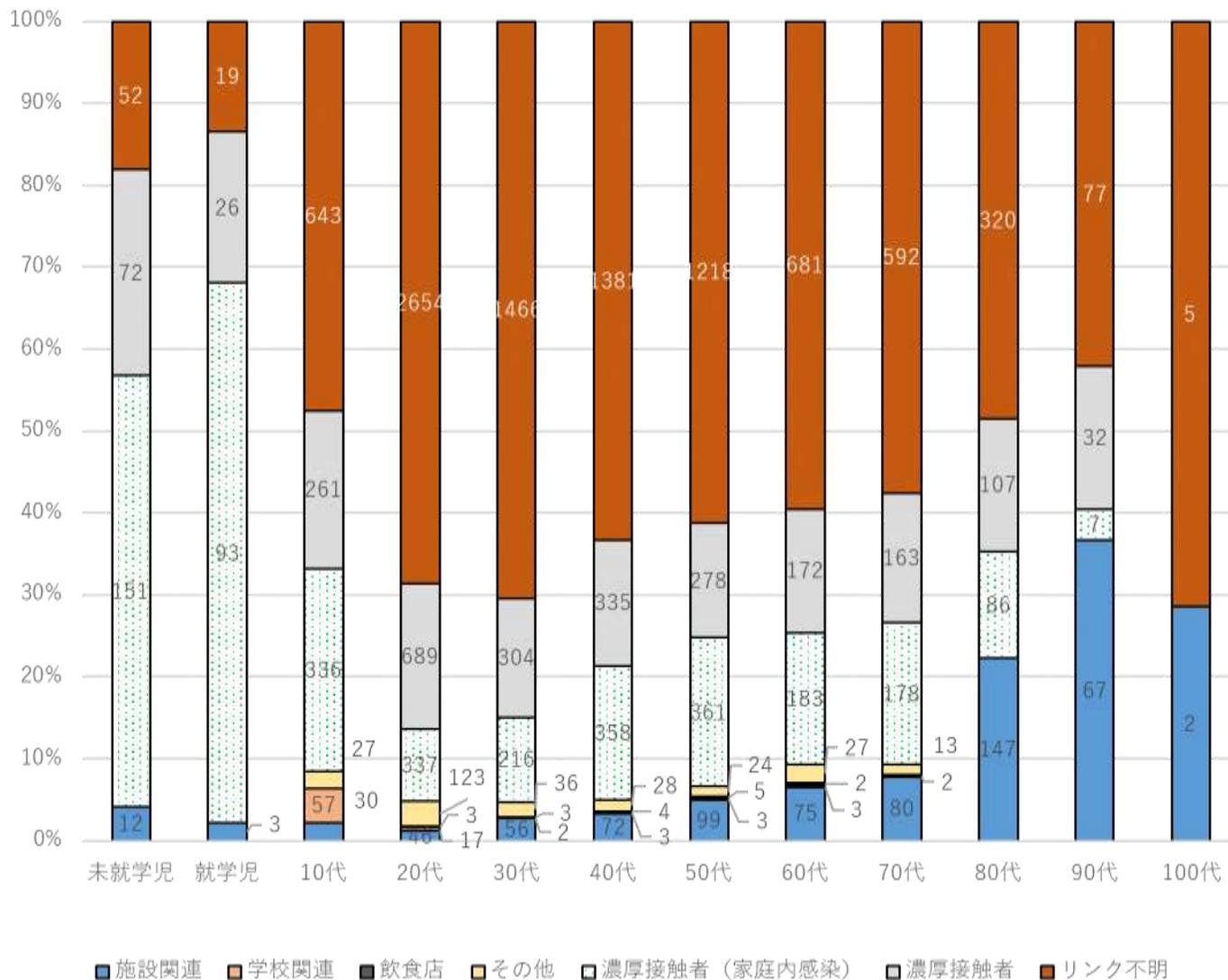
感染経路の状況（大阪市内外）



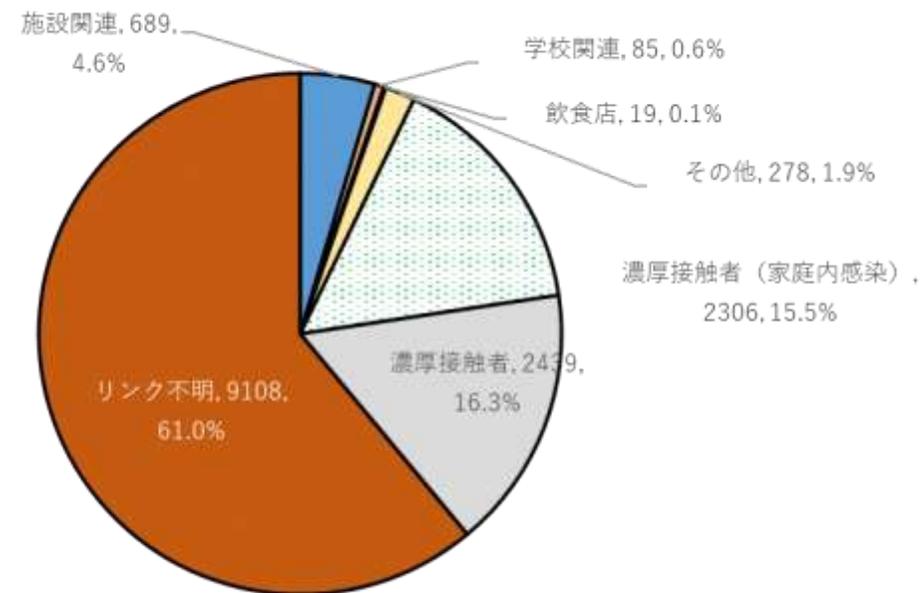
クラスター発生状況における感染経路（第四波）

（3月1日以降4月13日までに判明した14,924事例の状況）

年代別感染経路



全年代感染経路



< 全年代感染経路 >

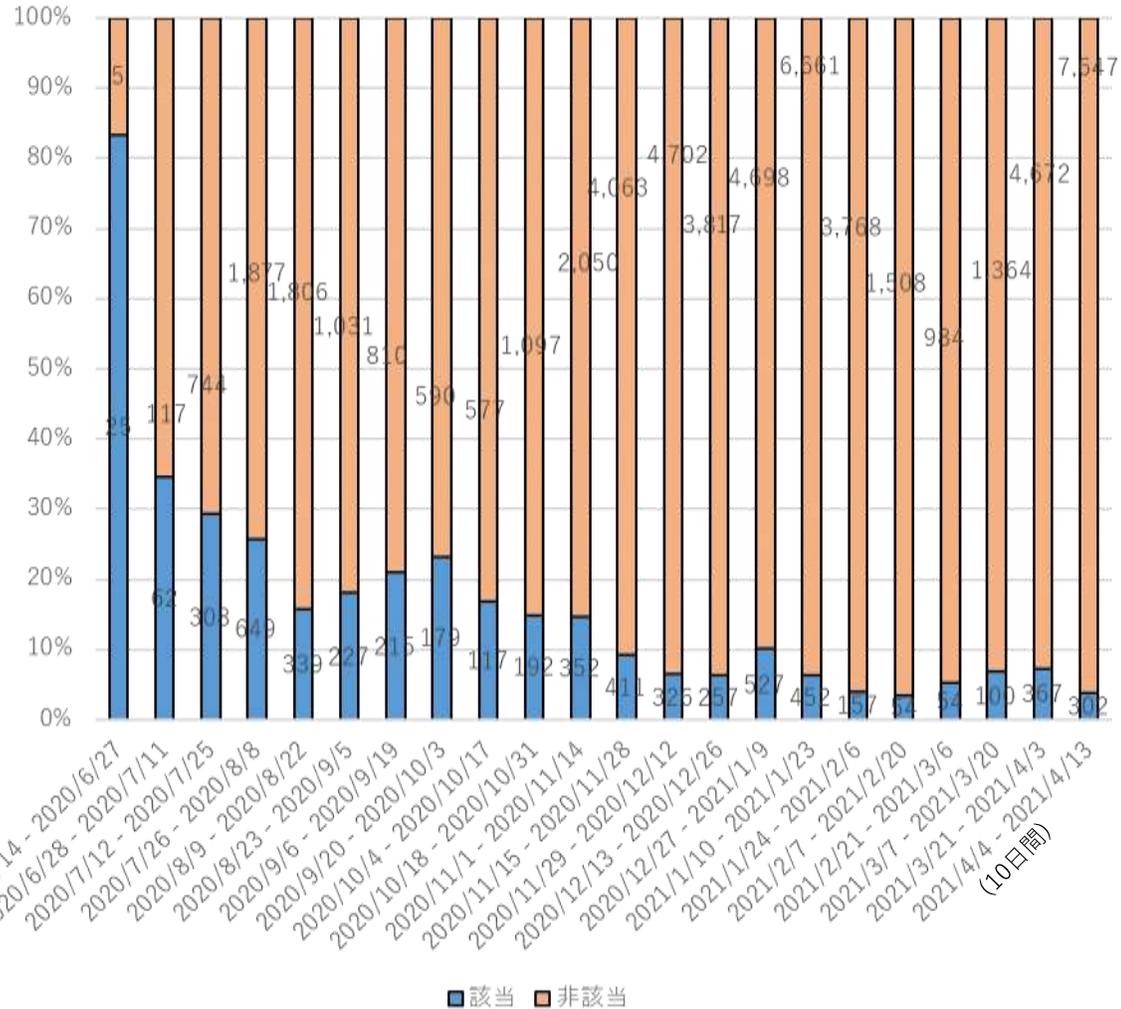
時点	施設関連	学校関連	飲食店	その他	濃厚接触者(家庭内感染)	濃厚接触者	リンク不明
第二波	7.7%	0.5%	0.5%	0.4%	12.3%	18.6%	60.0%
第三波	13.0%	1.2%	0.2%	1.4%	16.7%	14.8%	52.7%
第四波 (4/13まで)	4.6%	0.6%	0.1%	1.9%	15.5%	16.3%	61.0%

夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

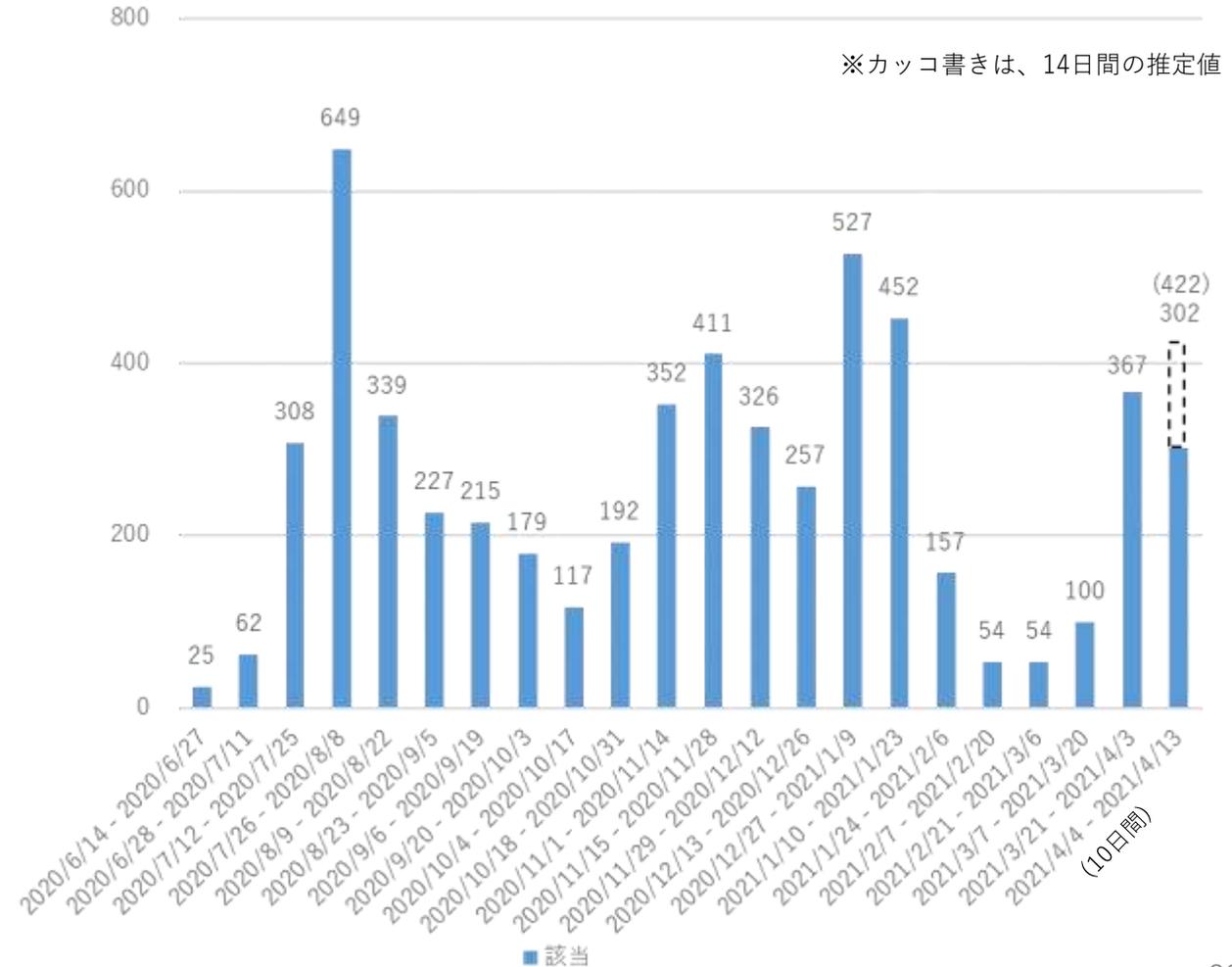
夜の街の関係者及び滞在者の人数は、3月から増加傾向。

（6月14日以降4月13日までに判明した62,046事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）

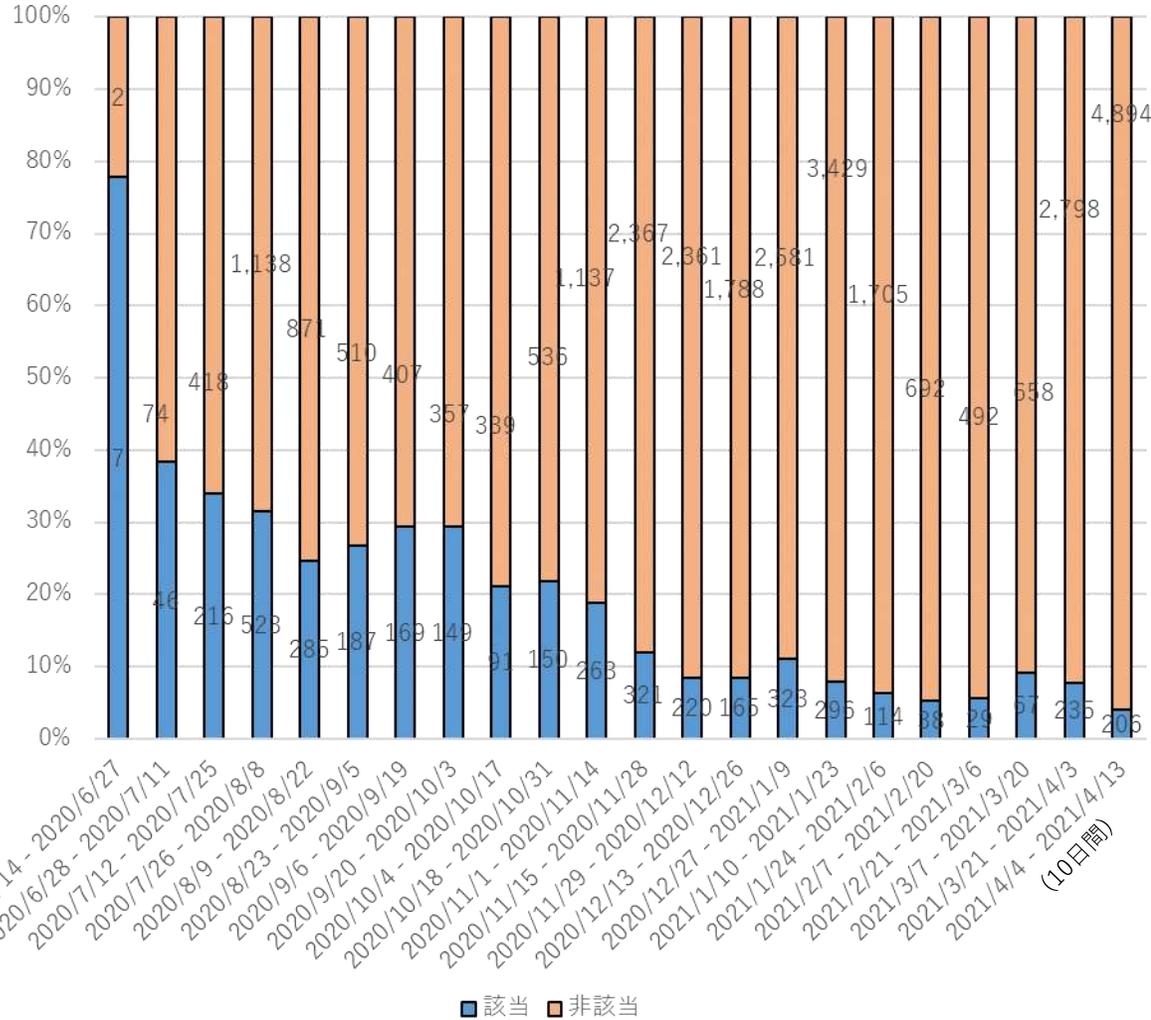


※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による22

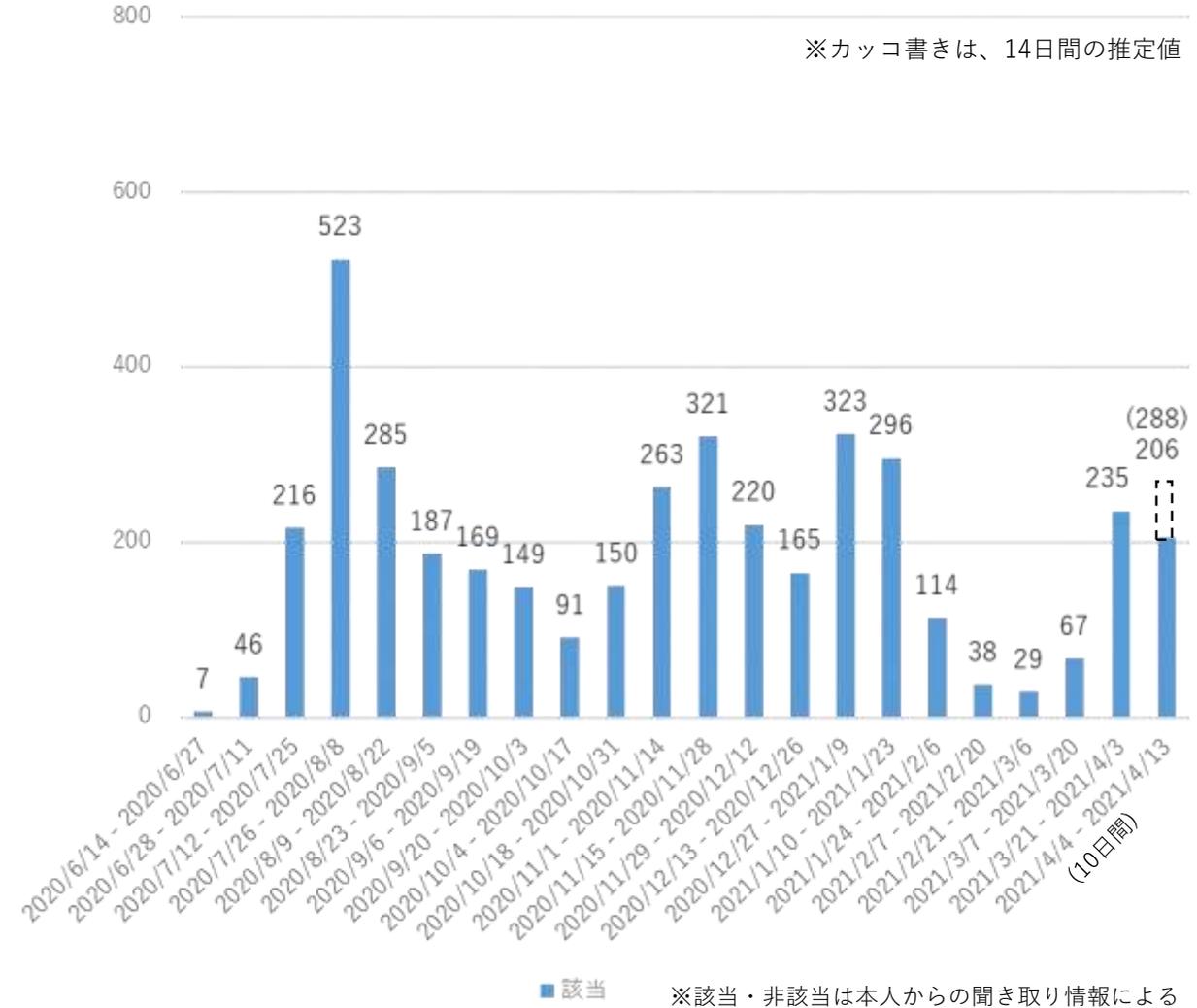
夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降4月13日までに判明した感染経路不明者33,654事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）



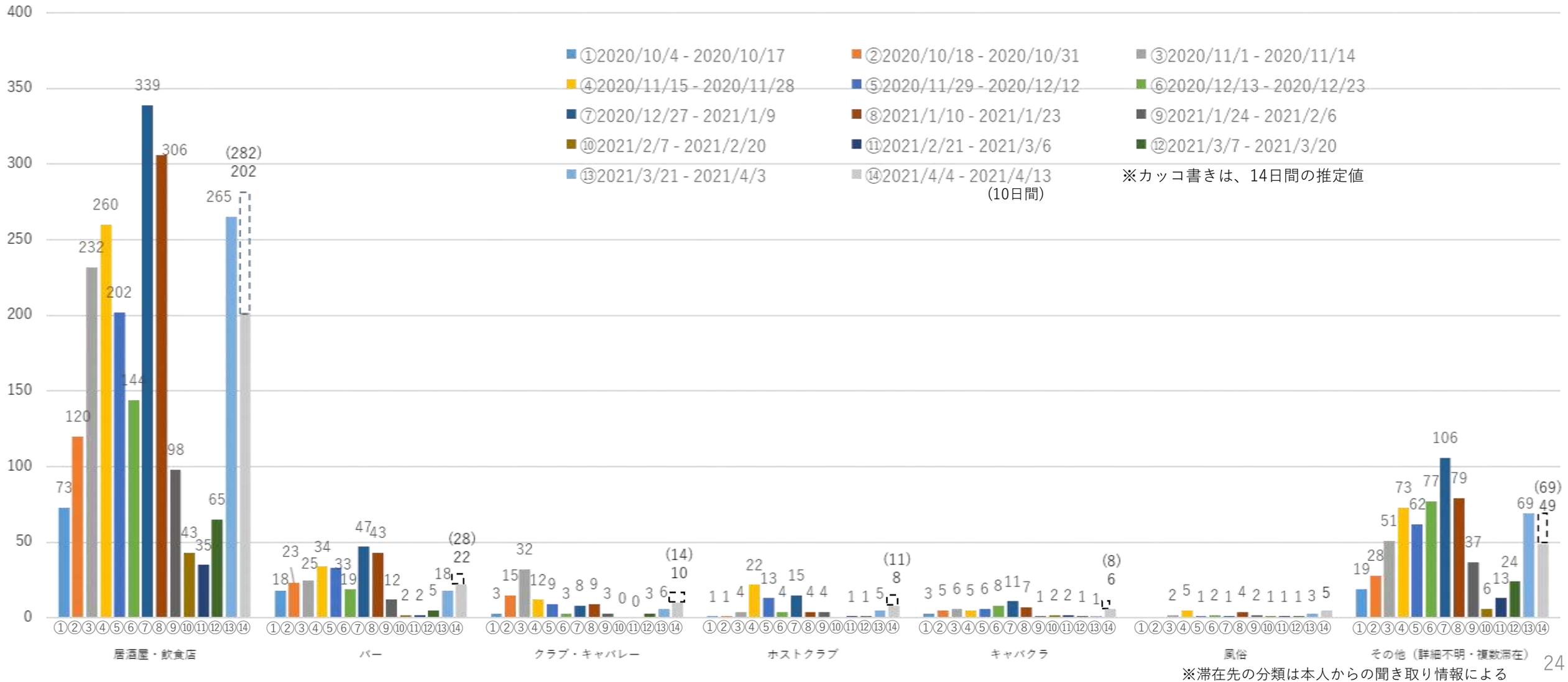
※カッコ書きは、14日間の推定値

※該当・非該当は本人からの聞き取り情報による

夜の街の滞在分類別の状況

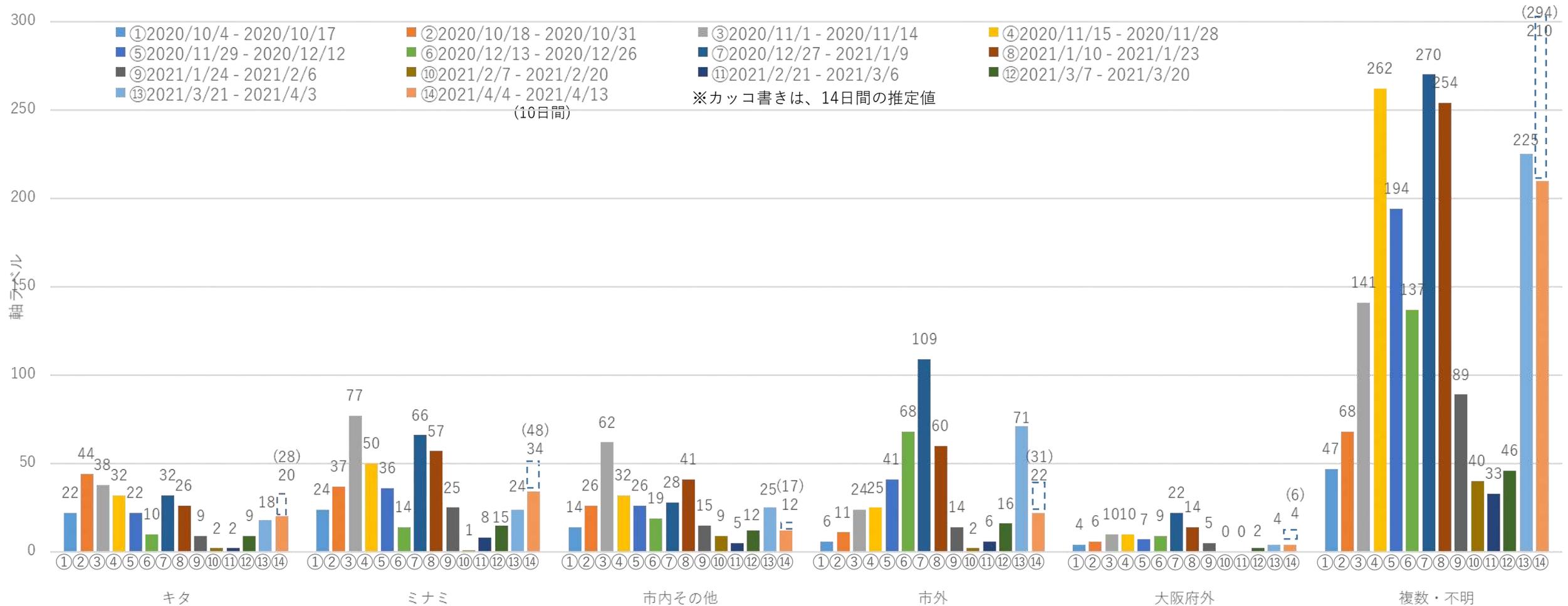
居酒屋・飲食店は、3月より増加に転じていた。

(10月4日以降4月13日までに判明した3,668事例の状況)



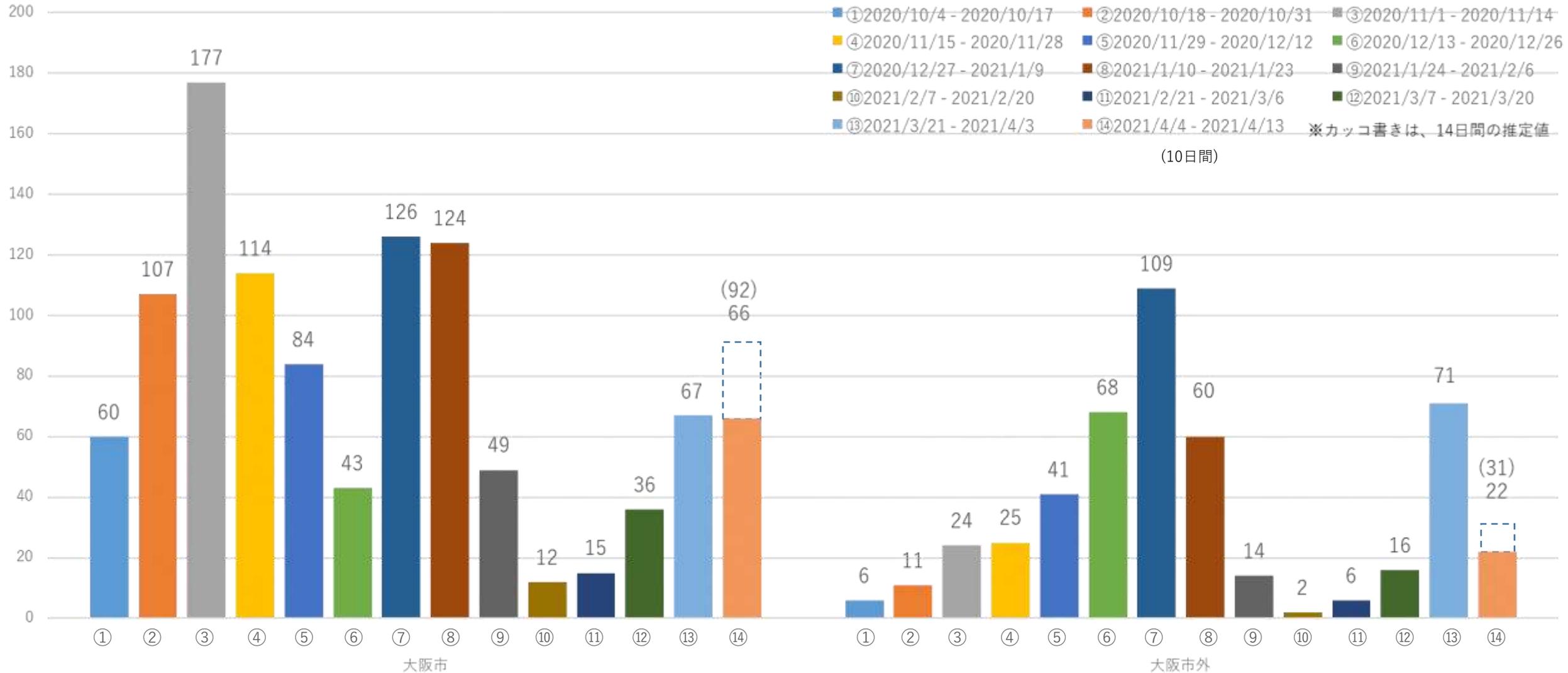
夜の街の滞在エリア別の状況

(10月4日以降4月13日までに判明した3,668事例の状況)



夜の街の滞在エリア別の状況

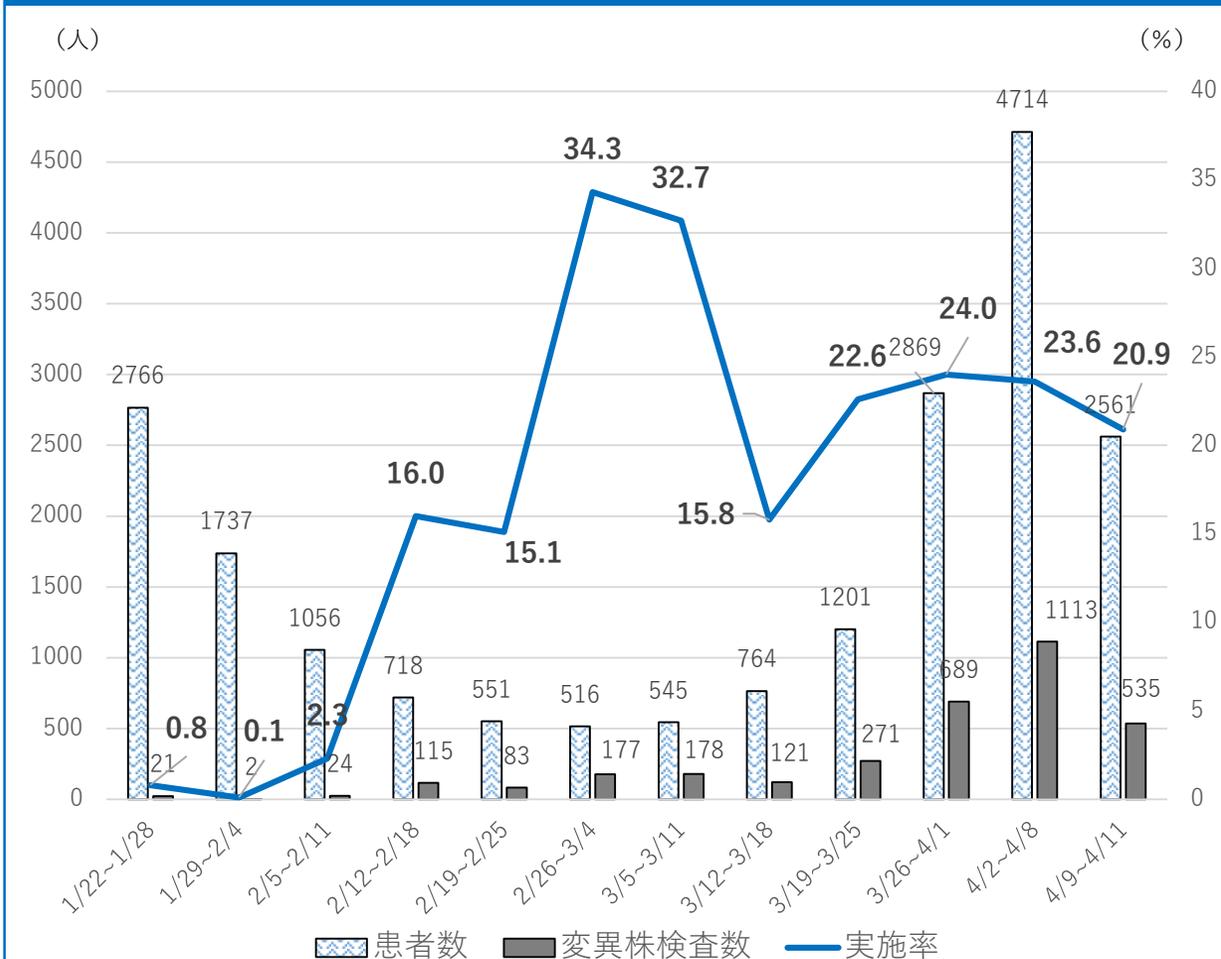
(10月4日以降4月13日までに判明した3,668事例の状況)



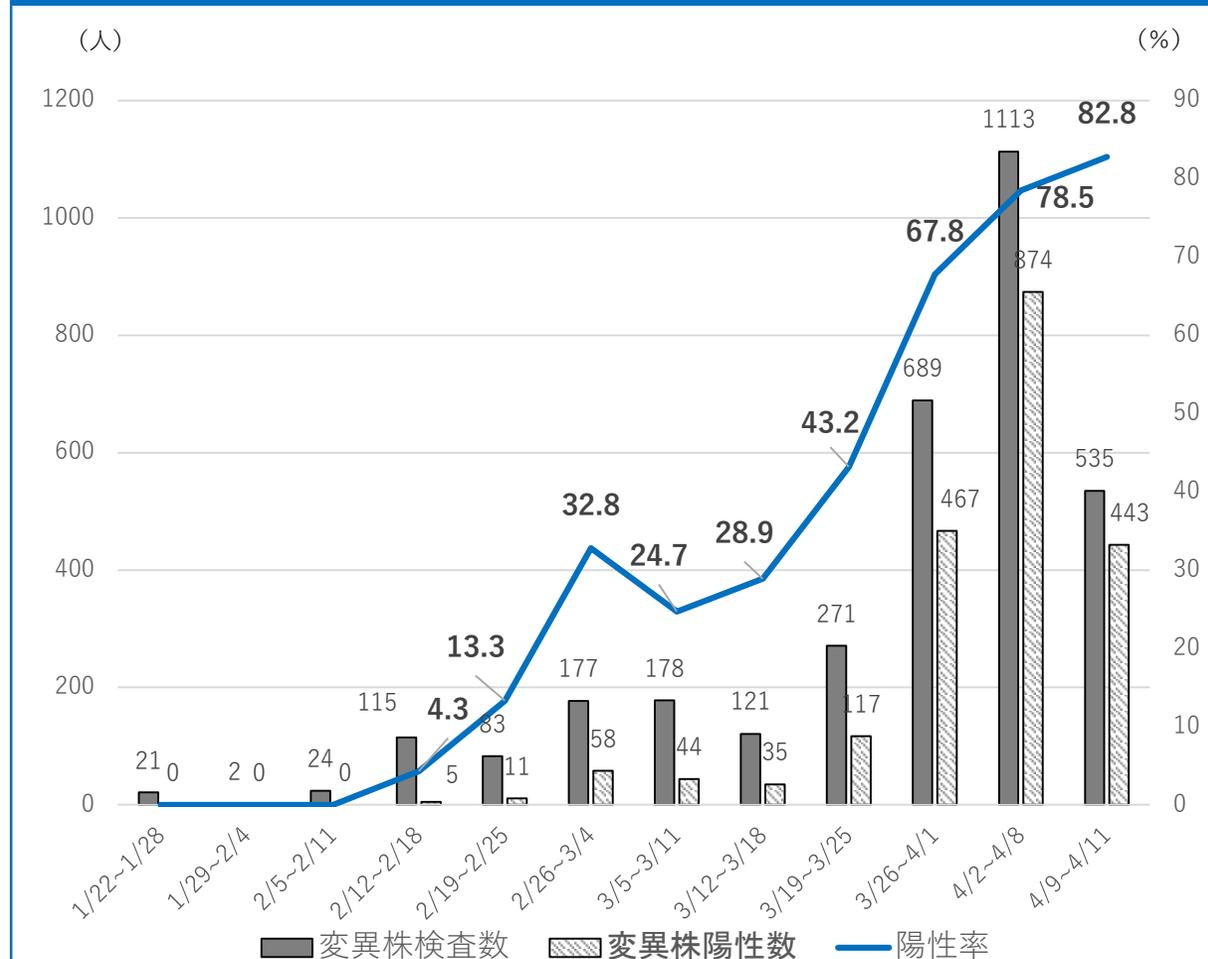
変異株PCRの実施率及び陽性率

- 患者数は当該週に公表された人数、変異株検査数及び陽性数は当該週に結果判明した件数として、変異株PCR検査の実施率及び陽性率を算出。
- 変異株PCR検査件数は、府が民間検査機関等※¹に委託している検査の他、厚生労働省が民間検査機関※²と契約し変異株PCRを実施した件数も含む。
- ※¹：地方衛生研究所、阪大微生物病研究会、病院（1月下旬以降、順次拡充。現在、週当たり最大600件程度を実施）
- ※²：SRL（2/8から報告）、BML（3/26から報告）、LSIメディエンス（4/7から報告）

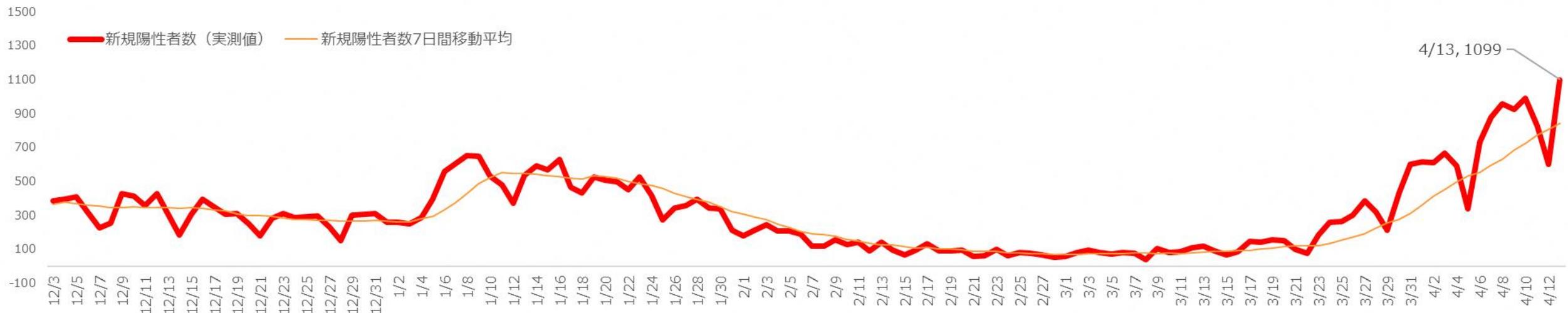
新規患者数及び変異株PCR検査数（実施率）



変異株PCR検査数のうち陽性割合（陽性率）



新規陽性者数と入院・療養者数（4月13日時点）



入院患者（重症）

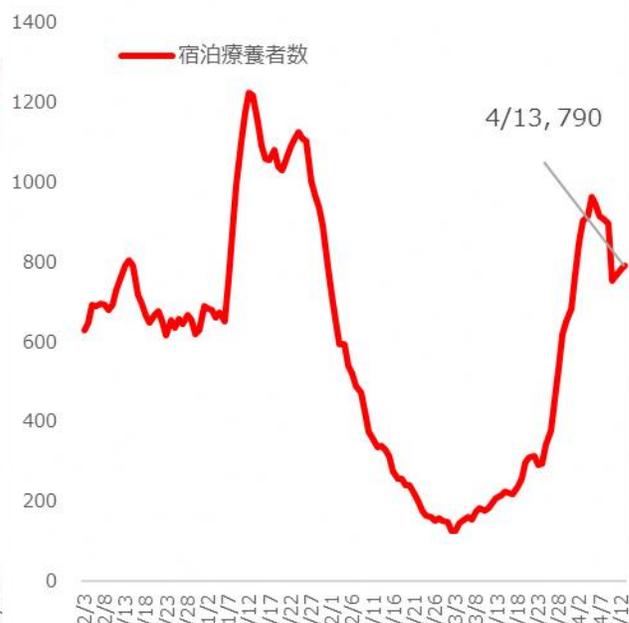


※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

入院患者（軽症中等症）



宿泊療養者



自宅療養者



入院・療養状況（4月13日時点）

		重症病床	軽症中等症病床	宿泊療養施設
確保計画	フェーズ1	75床	700床	800室
	フェーズ2	110床	1,000床	1,600室
	フェーズ3	150床	1,200床	2,400室
	フェーズ4	180床	1,500床	—
	フェーズ4-2	221床	1,800床	—
確保数等	確保数227床※ ※病床確保計画の確保病床数（224床）を上回って確保した病床数を含む。 ※大阪モデルの重症病床使用率は、病床確保計画の確保病床数224床で算出	確保数1,781床	2,416室	
入院・療養者数 (別途、自宅療養 5,404人)	213人※ ※上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数20人 (計 重症者数 233人)	1,125人※ ※左記20人を含む	790人	
(使用率：入院・療養者数 ／確保病床・室数)	93.8% (213 / 227)	63.2% (1,125 / 1,781)	32.7% (790 / 2,416)	
(運用率：入院・療養者数 ／実運用病床・室数)	93.8% (213 / 227) うち、大阪コロナ重症センター (16 / 16)	67.2% (1,125 / 1,673)	32.7% (790 / 2,416)	

新型コロナウイルス感染症患者受入病床の確保・運用状況

● 重症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

4月13日現在 **病床運用率93.8%**

運用病床数 **227床**※1 入院患者数 **213人**※2

※1 病床確保計画の確保病床数(224床)を上回って確保した病床数を含む。

※2 上記の他、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている重症者数20人(計 重症者数 233人)

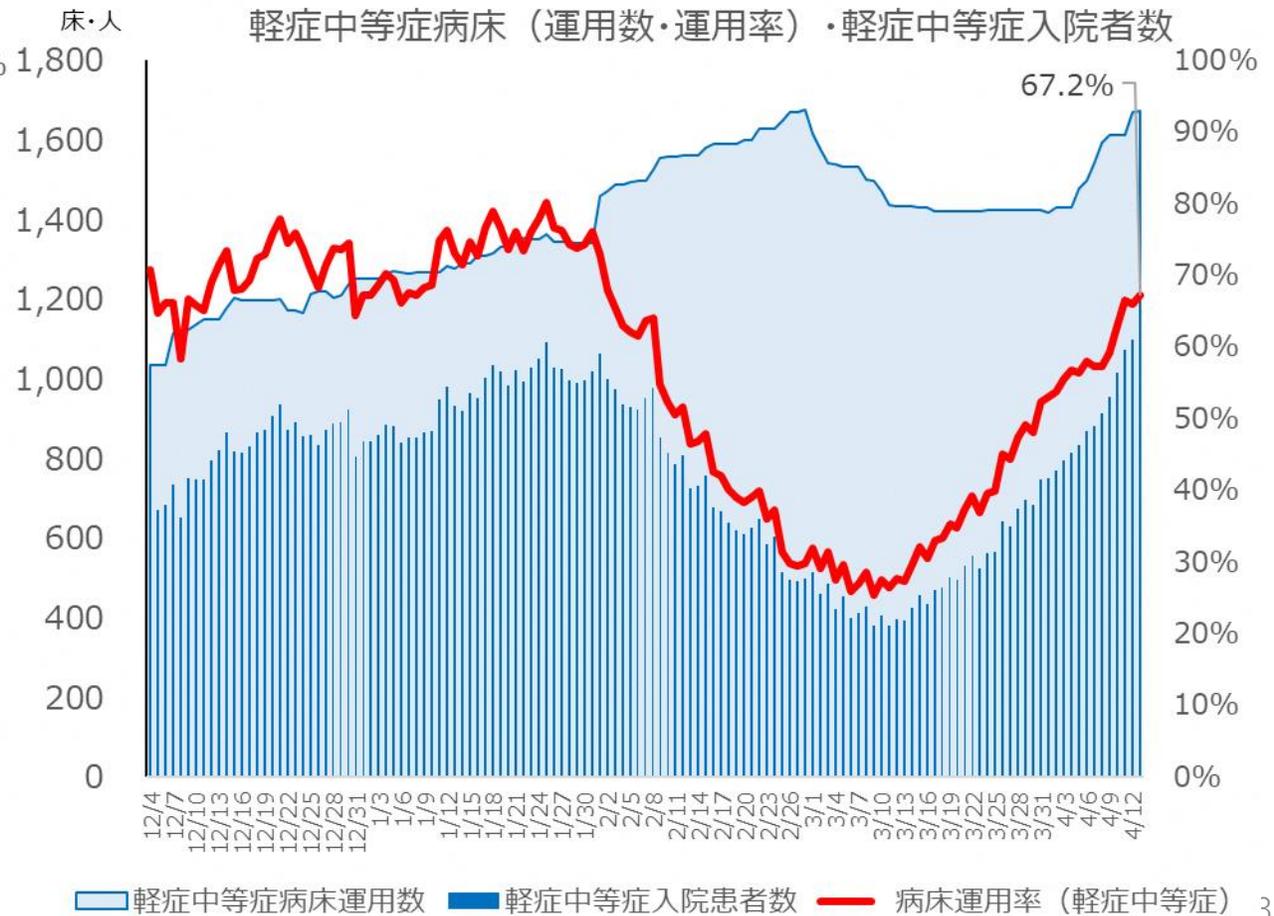
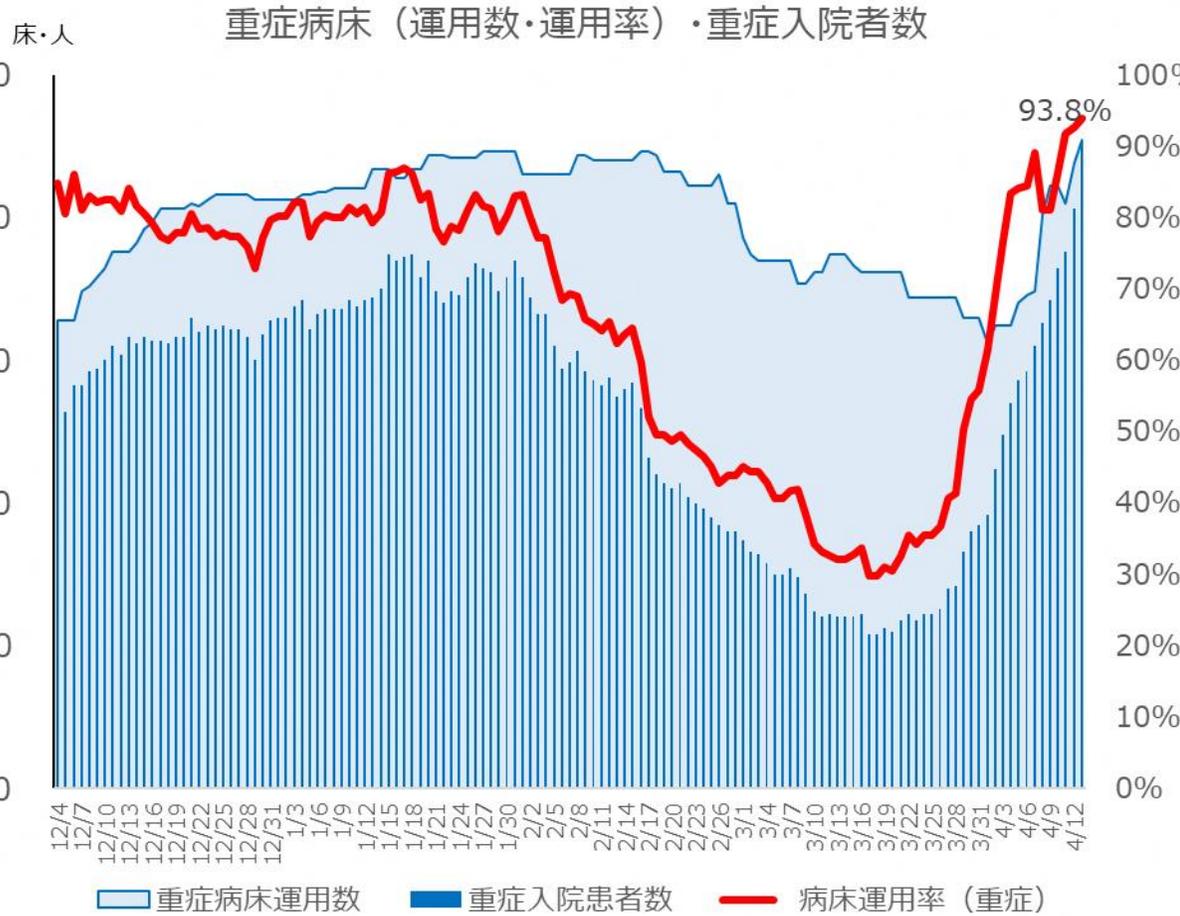
● 軽症中等症病床運用状況(令和2年12月4日以降)

4月13日現在 **病床運用率67.2%**

運用病床数 **1,673床**※1 入院患者数 **1,125人**※2

※1 小児・精神患者用病床等約80床含んでおり、一般患者に限ると病床利用率はより高くなっている。

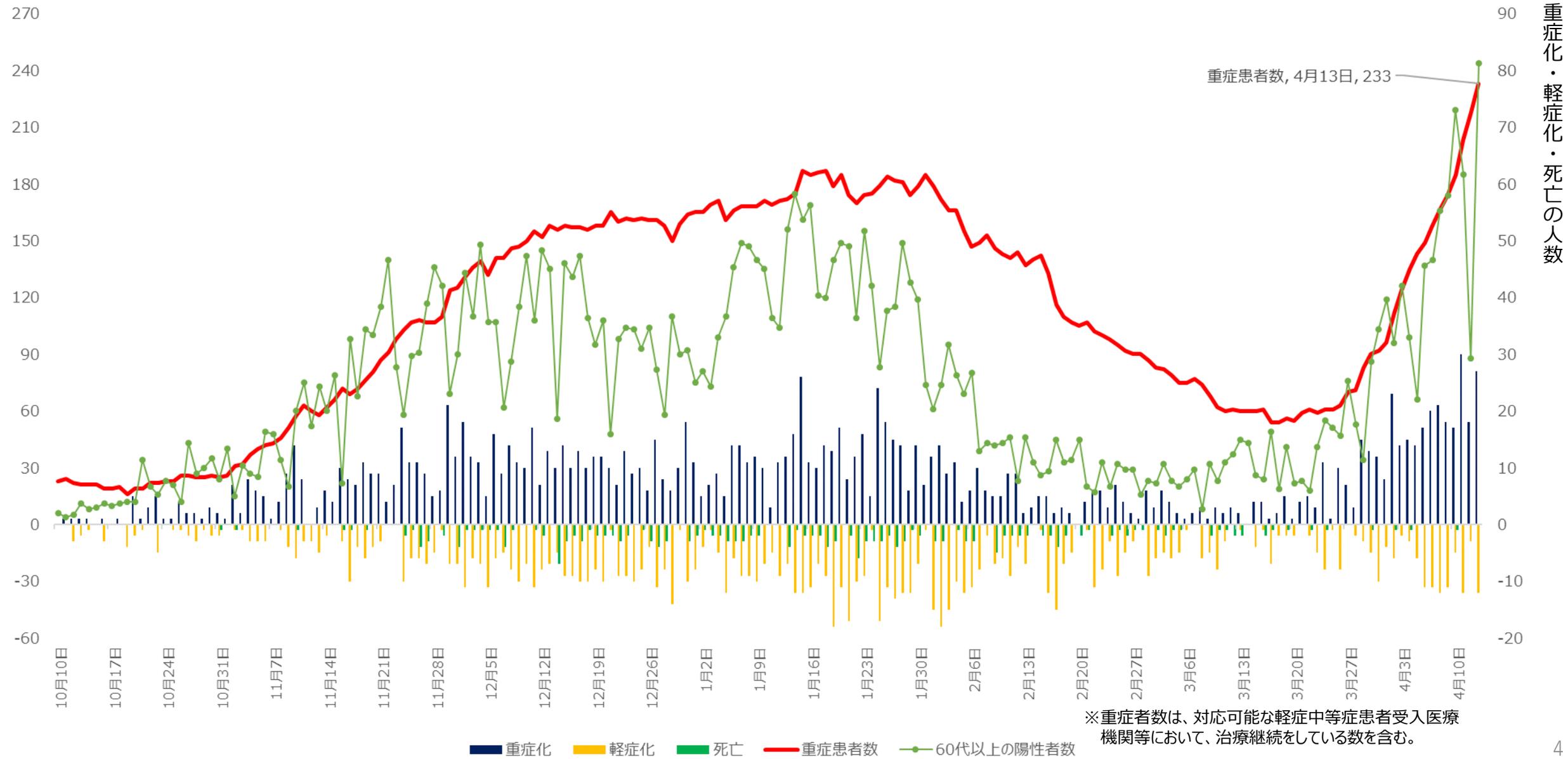
※2 左記20人を含む



新規陽性者数と重症者数の推移

60代以上の新規陽性者数と重症患者数の推移（報道提供日ベース）

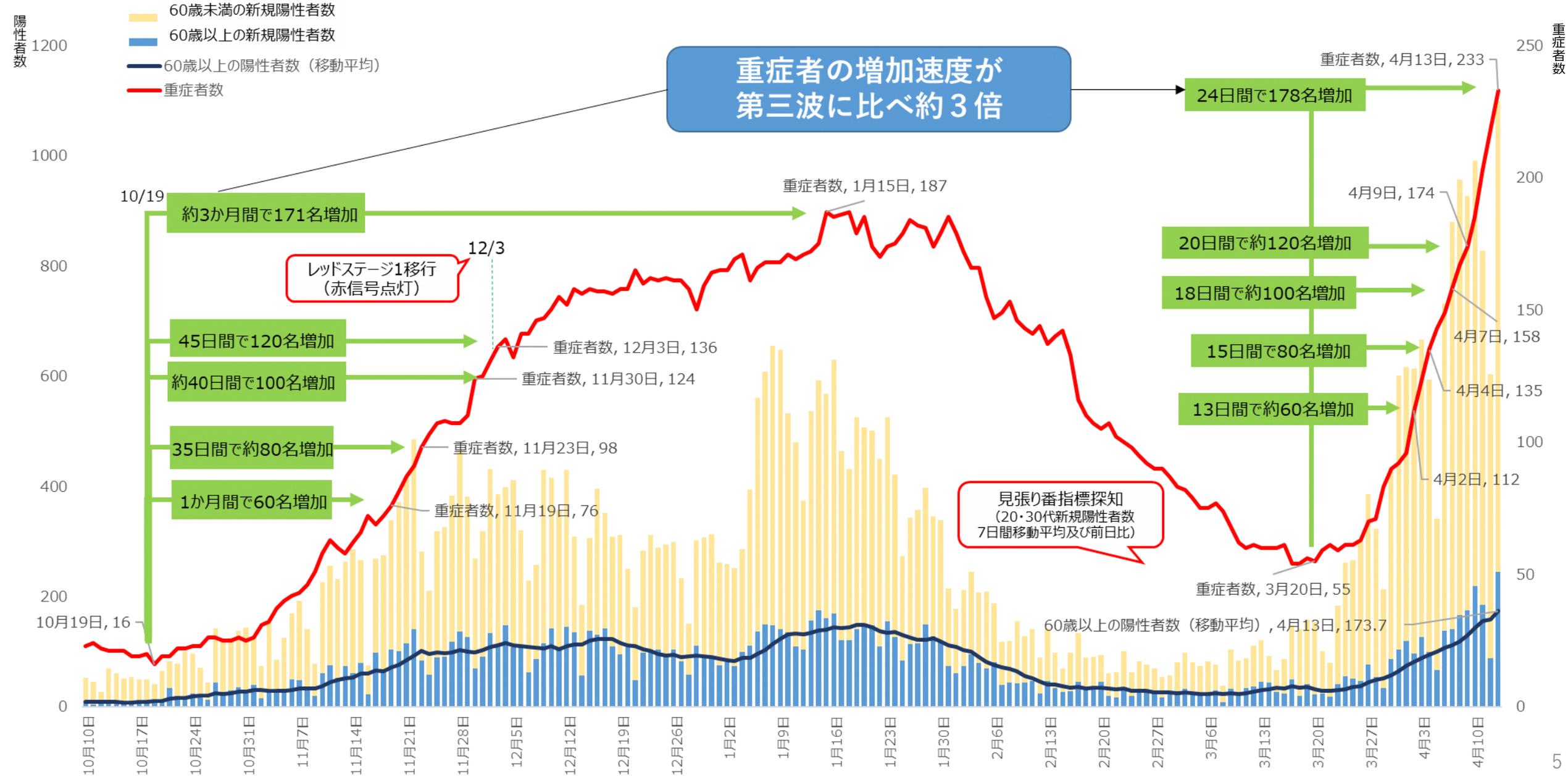
60代以上の新規陽性者数と重症患者数



※重症患者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

重症者数と60歳以上の陽性者数の推移

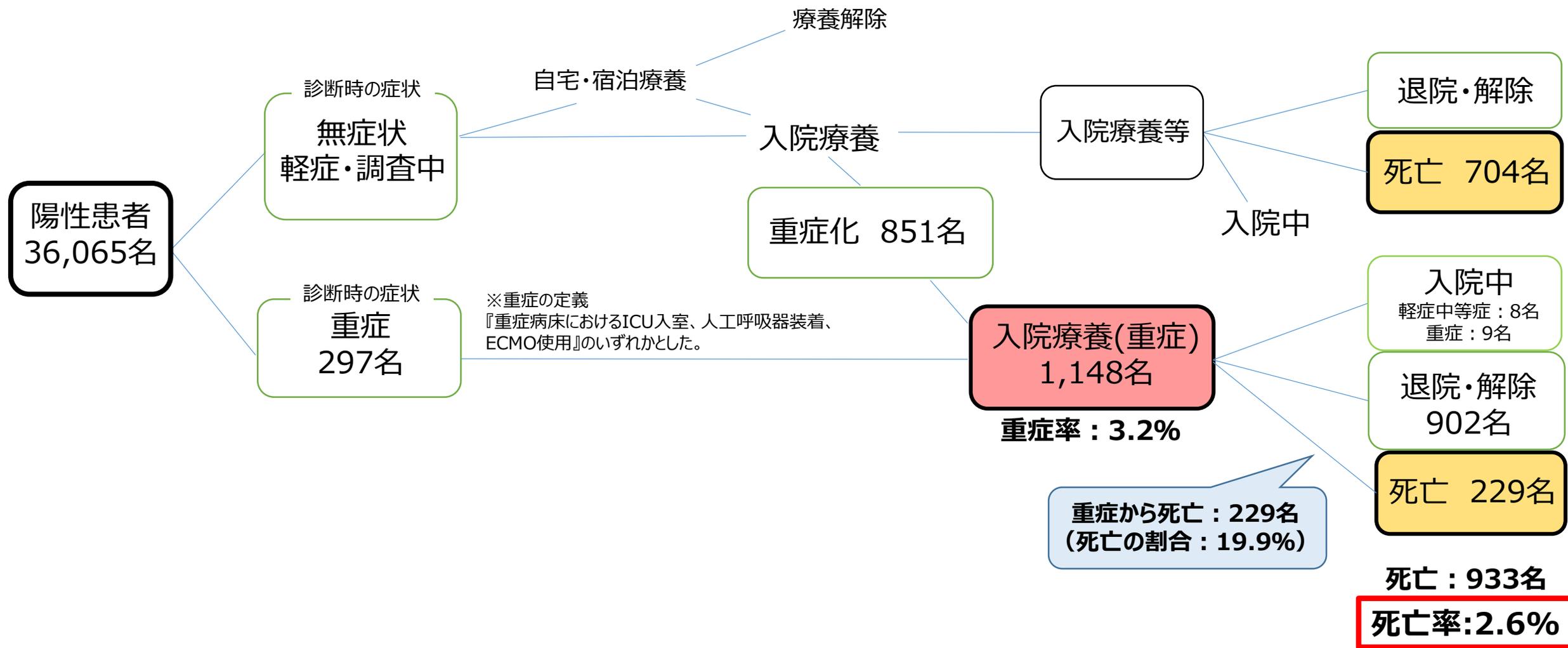
※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。



【第三波】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年4月13日時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

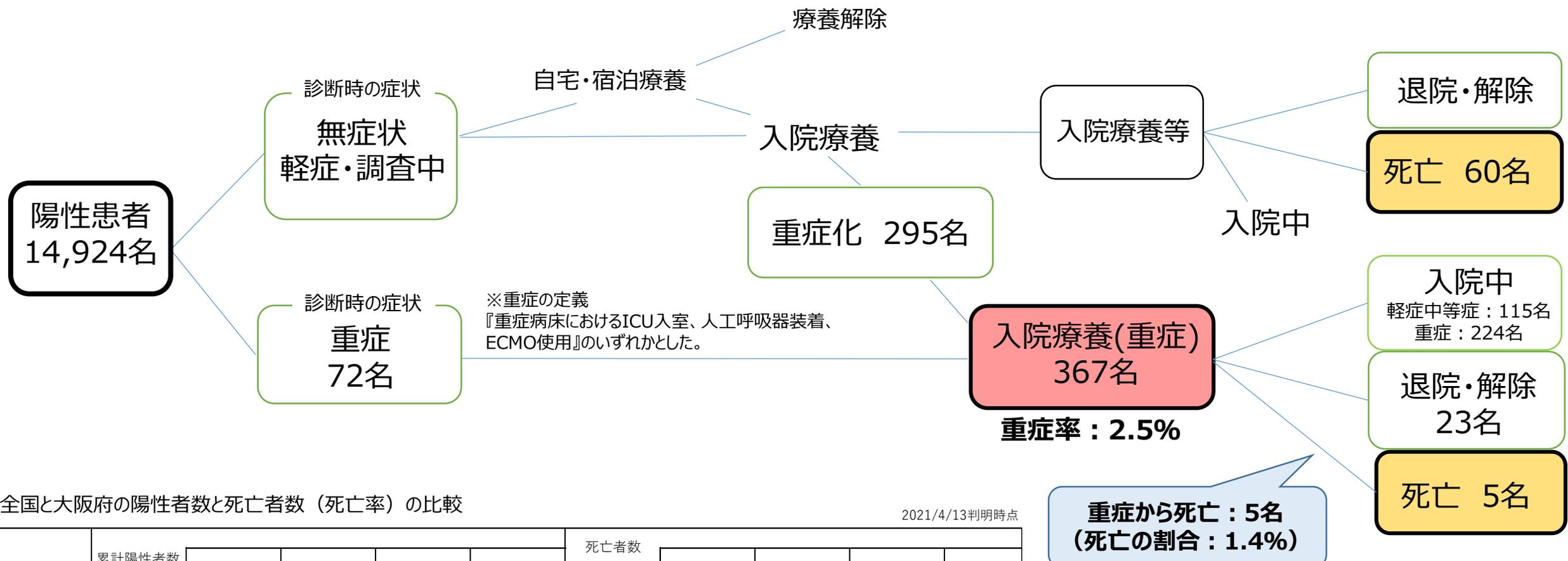
重症及び死亡例の経過



【第四波】重症及び死亡事例のまとめ（令和3年4月13日時点）

※死亡率：新規陽性者に占める死亡者の割合

重症及び死亡例の経過



**重症から死亡：5名
(死亡の割合：1.4%)**

**死亡：65名
死亡率:0.4%**

全国と大阪府の陽性者数と死亡者数（死亡率）の比較

2021/4/13判明時点

	累計陽性者数	陽性者数				死亡者数 (死亡率)	死亡者数			
		6/13まで	6/14~10/9	10/10~2/28	3/1~4/13		6/13まで	6/14~10/9	10/10~2/28	3/1~4/13
大阪府	62,046	1,786	9,271	36,065	14,924	1,182 (2.3%)	87 (4.9%)	142 (1.5%)	933 (2.6%)	65 (0.4%)
全国	506,272	17,179	70,012	343,342	75,739	9,422 (1.9%)	925 (5.4%)	698 (1.0%)	6,262 (1.8%)	1,537 (2.0%)

※チャーター機帰国者、クルーズ船乗客、空港検疫は含まれていない
 ※全国は厚生労働省公表資料（4/13の国内の発生状況）より集計。

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

第三波（10/10～2/28）

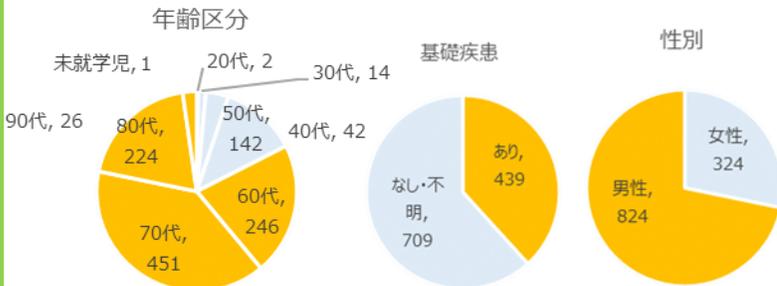
新規陽性者数	36,065
(再掲)40代以上(割合)	20,628(57.2%)
(再掲)60代以上(割合)	10,783(29.9%)
重症者数	1,148
死亡	229
退院・解除	902
入院中（軽症）	8
入院中（重症）	9

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：5.5% (1,131/20,628)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.8%(947/10,783)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：3.2%(1,148/36,065)

■発症から重症化するまでの日数

(全体) 平均±標準偏差：7.86±4.72、中央値：8
 (60代以上) 平均±標準偏差：7.83±4.84、中央値：8



平均年齢：66.1歳、60代以上の割合：82.5%

第四波（3/1以降）

新規陽性者数	14,924
(再掲)40代以上(割合)	7,190(48.2%)
(再掲)60代以上(割合)	3,021(20.2%)
重症者数	367
死亡	5
退院・解除	23
入院中（軽症）	115
入院中（重症）	224

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：4.9%(351/7,190)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：8.1%(244/3,021)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：2.5%(367/14,924)

【再掲】3月1日から3月14日

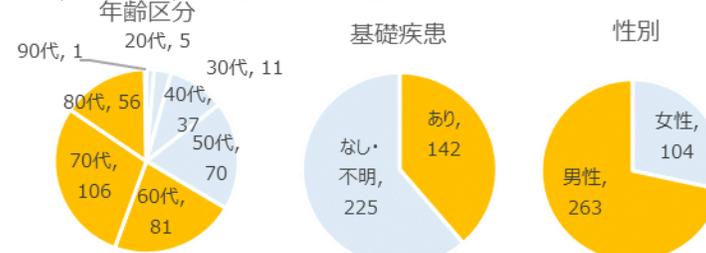
- ①5.0%(36/717)、②6.9%(27/394)、③3.0%(36/1184)

【再掲】3月15日から4月13日

- ①4.9%(315/6473)、②8.3%(217/2627)、③2.4%(331/13740)

■発症から重症化するまでの日数

(全体) 平均±標準偏差：7.26±3.88、中央値：7
 (60代以上) 平均±標準偏差：7.20±4.18、中央値：7



平均年齢：60.7歳、60代以上の割合：66.5%

【再掲】変異株陽性者

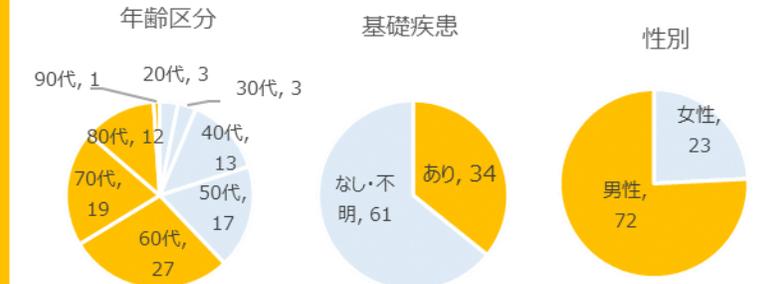
変異株スクリーニング陽性者数	1,937
(再掲)40代以上(割合)	830(42.8%)
(再掲)60代以上(割合)	317(16.4%)
重症者数	95
死亡	1
退院・解除	4
入院中（軽症）	36
入院中（重症）	54

■重症者の割合

- ①40代以上の陽性者に占める重症者の割合：10.7%(89/830)
- ②60代以上の陽性者に占める重症者の割合：18.6%(59/317)
- ③全陽性者数に占める重症者の割合：4.9% (95/1,937)

■発症から重症化するまでの日数

(全体) 平均±標準偏差：6.64±3.65、中央値：6.5
 (60代以上) 平均±標準偏差：6.58±4.11、中央値：6



平均年齢：58歳、60代以上の割合：62.1%

※重症者数は、対応可能な軽症中等症患者受入医療機関等において、治療継続をしている数を含む。

【第四波の特徴 療養状況】重症者のまとめ（令和3年4月13日時点）

- 第四波は第三波と比べ、発症から重症化するまでの日数が7日と1日短く、変異株陽性者についてはさらに短い（6日）。
- 変異株陽性者は、現時点では、母数の少なさ等から、従来株との単純比較は困難であるが、重症化率は、従来株と比べて高い傾向。

		第三波	第四波 (前半3/1~3/14)	第四波 (3/15~4/13)	【再掲】変異株陽性者
重症者の割合	40代以上の陽性者に占める重症者の割合	5.5%	5.0%	4.9%	10.7%
	60代以上の陽性者に占める重症者の割合	8.8%	6.9%	8.3%	18.6%
	全陽性者に占める重症者の割合	3.2%	3.0%	2.4%	4.9%
発症から重症化するまでの日数 (中央値)	全体	8日	7日	6.5日	
	60代以上	8日	7日	6日	
重症者数に占める50代以下の割合		17.5%	33.5%	37.9%	

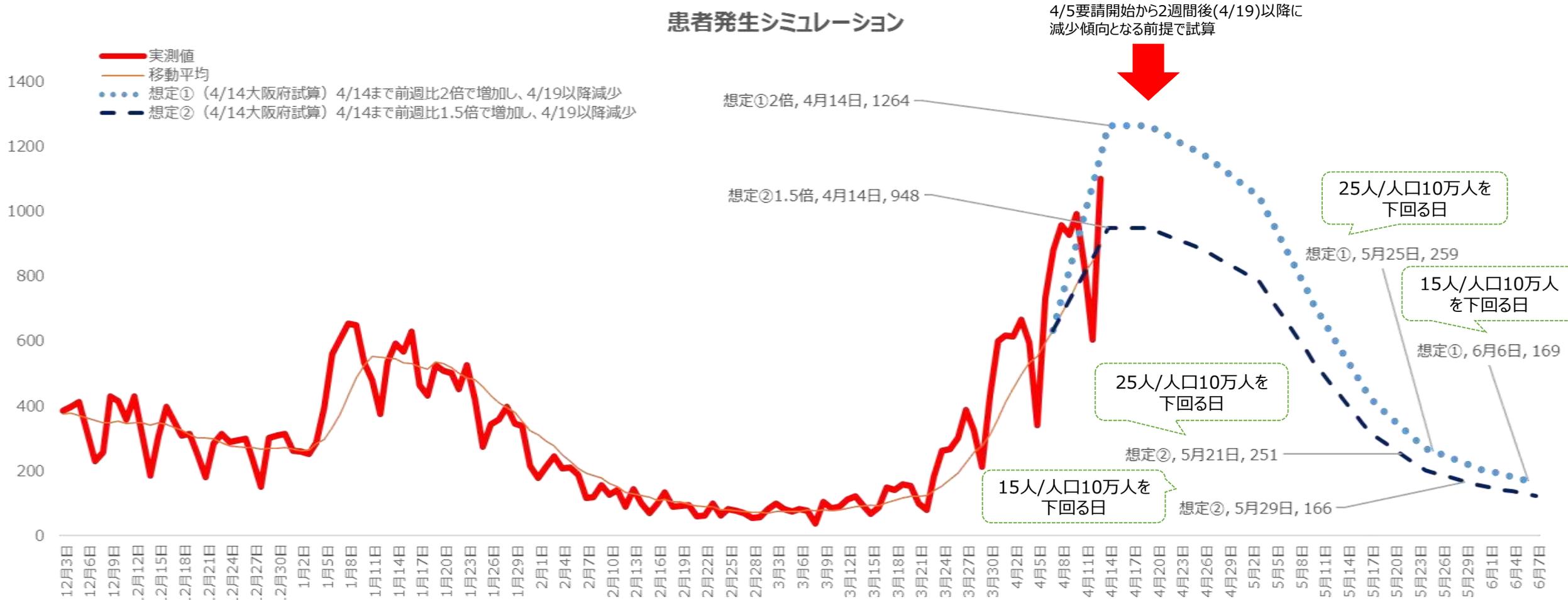
新規陽性者数の推移と患者発生シミュレーション

■ 4/7の新規陽性者数の移動平均値632を起点に、以下の想定でシミュレーションを実施

想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19（4/5まん延防止等重点措置開始後2週間）以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

※4/14から4/19までは新規陽性者数は横ばいになると仮定。



直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が25（ステージⅣ）を下回る日：想定①5月25日、想定②5月21日

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が15（ステージⅢ）を下回る日：想定①6月6日、想定②5月29日

療養者数のシミュレーション

入院患者数（重症）シミュレーション

■ 以下の想定でシミュレーションを実施。
 想定①：4/14まで前週増加比2.0倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

想定②：4/14まで前週増加比1.5倍で増加し、4/19以降第三波（1月中旬以降）と同じ前週比で減少する場合

【陽性者数の設定の考え方】

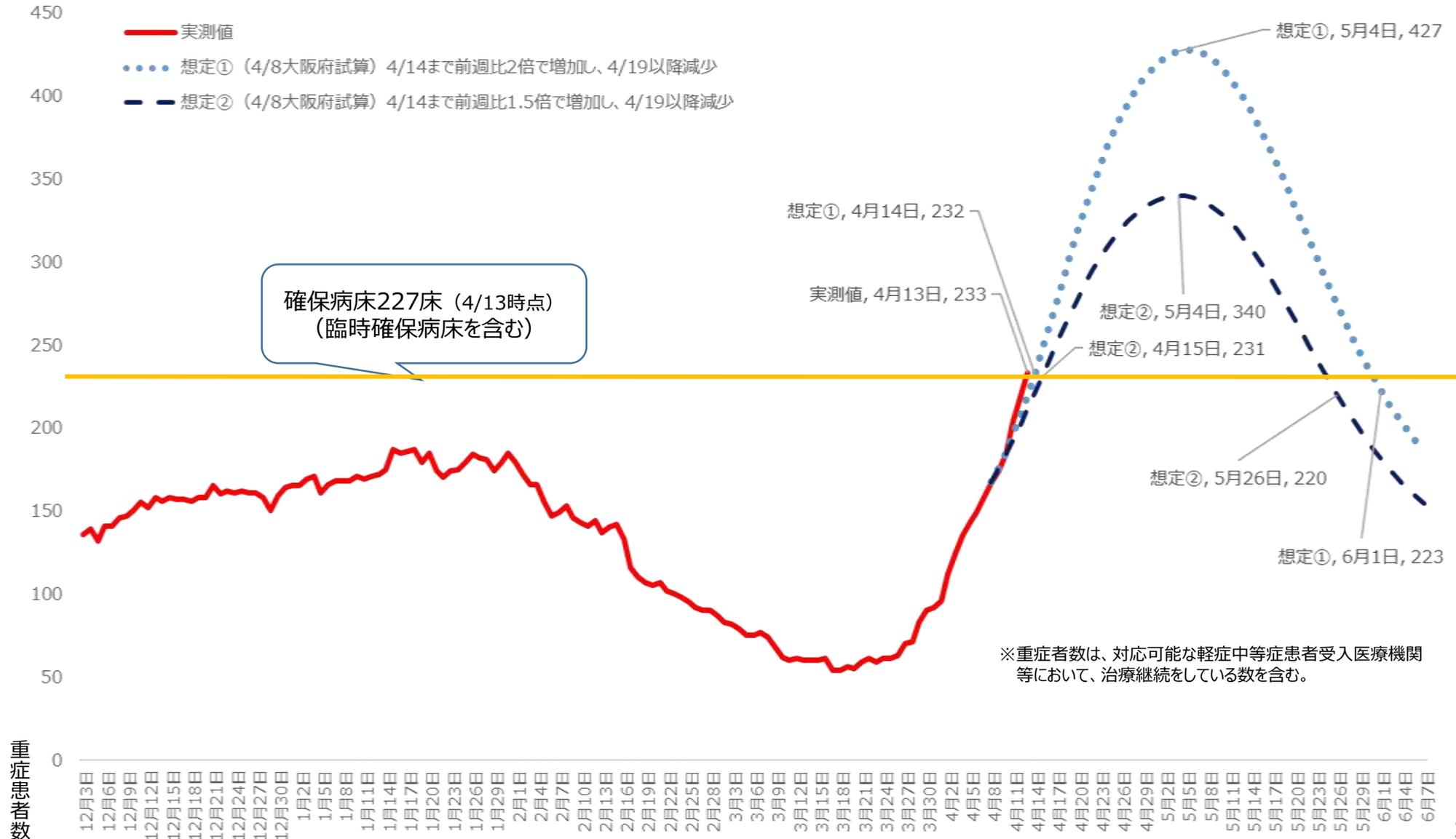
■ 新規陽性者中の60代以上の陽性者の割合を18%（※1）と設定。
 ■ 新規陽性者中の40代・50代の新規陽性者数を28%（※1）と設定。
 ※1：4月7日時点の新規陽性者中の割合（7日間）

【重症率の設定の考え方】

■ 60代以上の新規陽性者の重症率は9.0%（※2）と設定。
 ■ 40代・50代の新規陽性者の重症率は2.1%（※2）と設定。
 ※2：第四波（3/1～4/5）における重症率

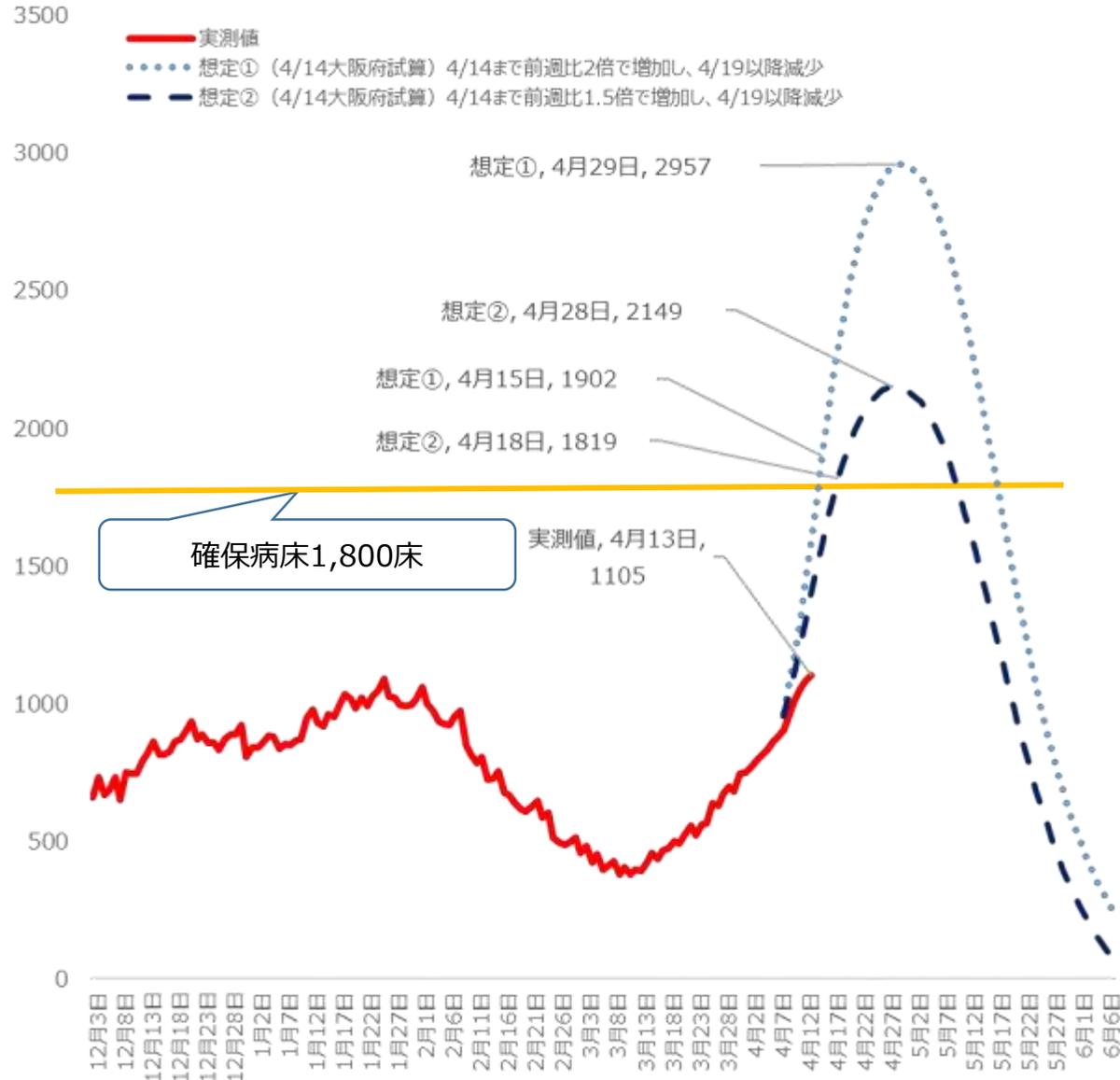
【療養方法と期間の設定の考え方】

■ 重症患者以外の陽性者のうち、20%は入院療養、35.7%は宿泊療養、44.4%は自宅療養となる。（第三波実測値）
 ■ 重症以外の入院療養者は約12日後に退院する。宿泊及び自宅療養者は約7日後に解除となる。
 （第三波（12/21時点）実測値）

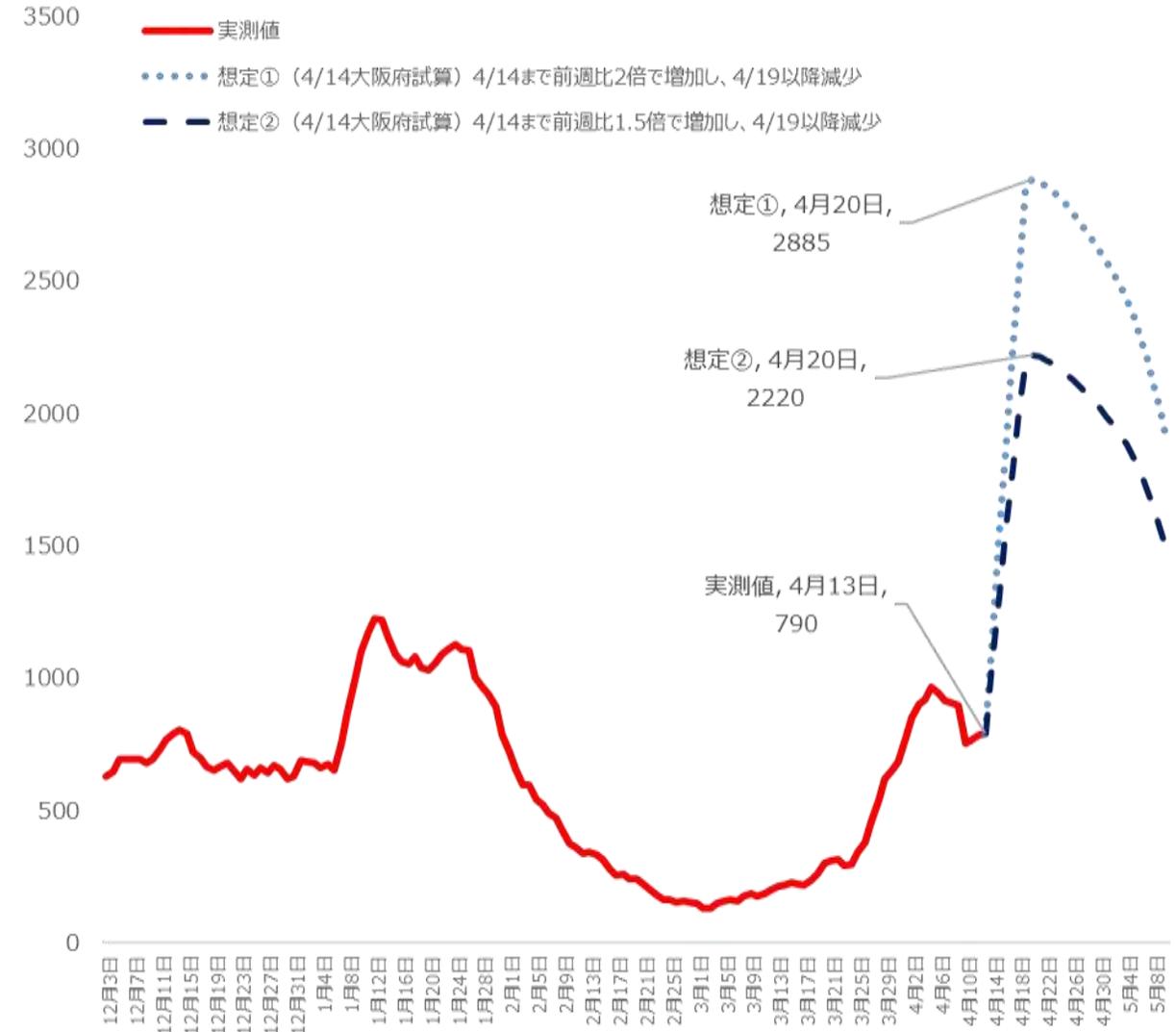


療養者数のシミュレーション

入院患者数（軽症中等症）シミュレーション



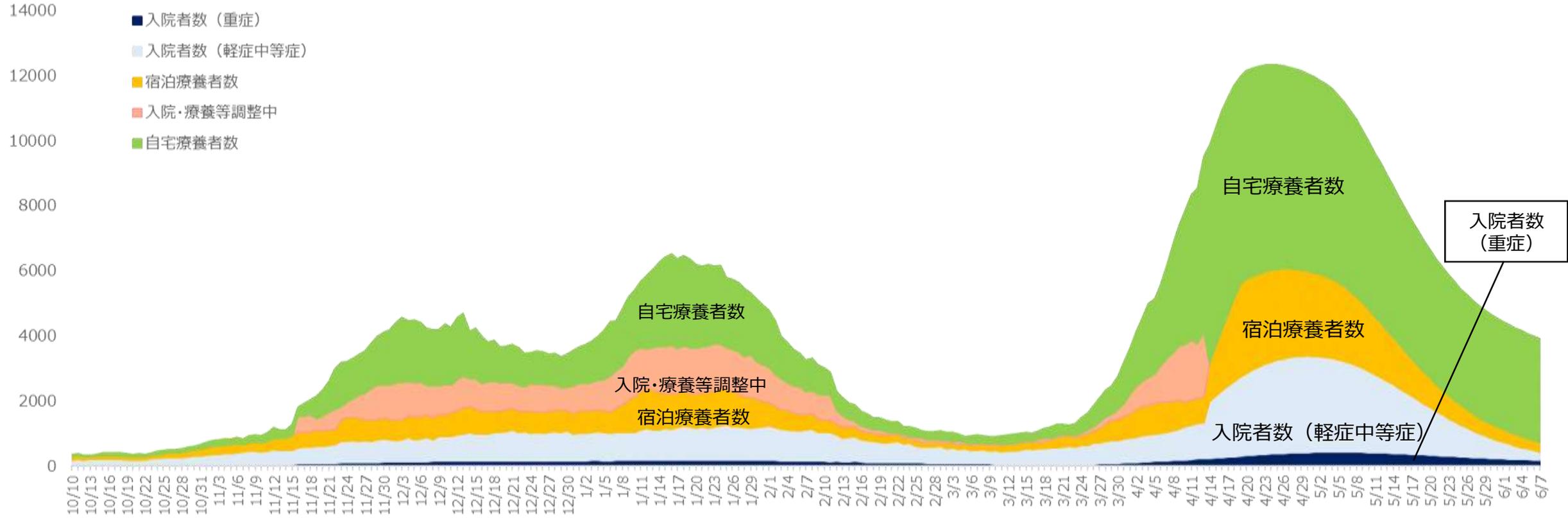
宿泊療養者数シミュレーション



宿泊療養者数のみ4月13日を起点としてシミュレーション実施

療養者数のシミュレーション

療養者数（4月14日以降は想定①シミュレーション）



	4/14	4/15	4/16	4/17	4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4	5/5	5/6	5/7	5/8	5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15
新規陽性者数	1264	1264	1264	1264	1264	1264	1251	1238	1225	1212	1199	1186	1173	1155	1136	1118	1100	1081	1063	1045	997	949	901	853	805	757	709	668	627	586	545	504
入院者数(重症)	232	246	260	275	290	304	319	332	345	357	368	378	388	396	403	409	415	419	422	425	427	427	427	426	424	420	416	411	405	398	391	383
入院者数(軽症中等症)	1750	1902	2044	2178	2303	2419	2523	2615	2695	2764	2822	2869	2907	2933	2950	2957	2957	2949	2934	2914	2882	2840	2788	2726	2657	2579	2494	2404	2310	2211	2108	2002
宿泊療養者数	1164	1527	1880	2222	2555	2860	2885	2873	2858	2839	2815	2787	2755	2722	2687	2650	2611	2571	2529	2485	2431	2366	2292	2207	2112	2006	1891	1778	1667	1560	1455	1352
自宅療養者数	6698	6752	6745	6677	6550	6378	6409	6395	6375	6351	6322	6288	6248	6206	6163	6117	6069	6019	5966	5912	5845	5765	5672	5566	5448	5317	5174	5034	4897	4763	4632	4505
療養者数	9844	10426	10929	11353	11697	11962	12135	12215	12274	12311	12328	12323	12298	12257	12202	12133	12051	11957	11852	11735	11584	11398	11178	10925	10640	10323	9975	9627	9279	8932	8586	8242